

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2018年7月11日
【発行者名】	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長兼CEO 佐藤 秀樹
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー14階
【事務連絡者氏名】	森下 泰幸
【電話番号】	(03) 6447 - 3086
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド <為替アクティブヘッジ>（毎月決算型）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 第一部【証券情報】

### (1)【ファンドの名称】

インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド<為替アクティブヘッジ>（毎月決算型）  
以下「当ファンド」または「ファンド」という場合があります。  
また、ファンドの愛称を「Mr.ポンド」とします。

### (2)【内国投資信託受益証券の形態等】

- ・ファンドの受益権は、追加型証券投資信託受益権（契約型）（以下「受益権」といいます。）で、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受けます。
- ・受益権の帰属は、後記「(11)振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。  
社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。
- ・振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。
- ・委託会社は、やむを得ない事情などがある場合を除き、振替受益権を表示する受益証券を発行しません。
- ・委託会社の依頼により、信用格付業者から提供または閲覧に供された信用格付はありません。また、信用格付業者から提供または閲覧に供される予定の信用格付もありません。

### (3)【発行（売出）価額の総額】

1兆円を上限とします。

\*受益権1口当たりの各発行価格に、各発行口数を乗じて得た金額の合計額です。

### (4)【発行（売出）価格】

購入の申込受付日の翌営業日の基準価額<sup>1</sup>とします。

ただし、「分配金再投資コース」において、分配金を再投資する場合の発行価格は、各計算期間終了日の基準価額とします。

スイッチング<sup>2</sup>による発行価格も、購入の申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

1 基準価額は、委託会社の営業日に日々算出されます。ファンドの基準価額は、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に「英ポンドアク」の銘柄名で掲載されます。また、後記「ファンドに関する照会先」に問い合わせることにより知ることができます。

2 「インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド」を構成する各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングの方法等は、購入、換金の場合と同様です。スイッチングとは、「インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド」を構成するいずれかのファンドを換金した場合の換金代金をもって、その換金の申込日に他の構成ファンドの購入の申し込みが行われ、かつ当該購入の申し込みの受け付けにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものをいいます。なお、販売会社によっては、一部のファンドのみの取り扱いとなる場合や全部または一部のファンド間でスイッチングが行えない場合があります。スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。詳しくは、お申し込みの販売会社にお問い合わせください。

**(5)【申込手数料】**

- ・購入時手数料<sup>1</sup>は、購入口数、購入金額<sup>2</sup>または購入代金<sup>3</sup>などに応じて、購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める3.24%（税抜き3.00%）以内の手数料率を乗じて得た額とします。

詳しくは、お申し込みの販売会社にお問い合わせください。販売会社の詳細は、後記「ファンドに関する照会先」に問い合わせることにより知ることができます。

1 購入時手数料には、購入時手数料にかかる消費税および地方消費税に相当する金額（以下「消費税等相当額」といいます。）がかかります。

2 「購入金額」とは、「購入の申込受付日の翌営業日の基準価額×購入口数」により計算される金額をいいます。

3 「購入代金」とは、「購入金額+購入時手数料（税込み）」により計算される金額をいいます。

- ・「分配金再投資コース」において分配金を再投資する場合は、無手数料とします。

**(6)【申込単位】**

購入単位は、お申し込みの販売会社にお問い合わせください。販売会社の詳細は、後記「ファンドに関する照会先」に問い合わせることにより知ることができます。

\* 「分配金再投資コース」において分配金を再投資する場合は、1口単位とします。

**(7)【申込期間】**

継続申込期間：2018年7月12日から2019年7月10日まで

\* 継続申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

**(8)【申込取扱場所】**

販売会社において、お申し込みを取り扱います。販売会社の詳細は、後記「ファンドに関する照会先」に問い合わせることにより知ることができます。

**(9)【払込期日】**

購入申し込みを行う投資者は、販売会社の定める日までに、購入代金をお申し込みの販売会社にお支払いください。

継続申込期間における各購入申込日の発行価額の総額は、追加信託が行われる日に、販売会社によって、委託会社の指定する口座を經由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

**(10)【払込取扱場所】**

販売会社において、払い込みを取り扱います。販売会社の詳細は、後記「ファンドに関する照会先」に問い合わせることにより知ることができます。

**(11)【振替機関に関する事項】**

ファンドの受益権にかかる振替機関は、株式会社証券保管振替機構です。

\* ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、振替機関の振替業にかかる業務規程などの規則に従って取り扱われます。

\* ファンドの分配金、償還金、換金代金は、社振法および振替機関の業務規程その他の規則に従って支払われます。

## (12)【その他】

- ・申込証拠金はありません。
- ・購入代金には利息を付しません。
- ・日本以外の地域における発行はありません。
- ・クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。
- ・2018年10月4日まで：ロンドンまたはアイルランドのいずれかの銀行休業日に該当す

る日には、購入のお申し込みの受け付けを行いません。

2018年10月5日以降：ロンドンまたはルクセンブルグのいずれかの銀行休業日に該当

する日には、購入のお申し込みの受け付けを行いません。

マザーファンドが投資対象とする投資信託証券「アイルランド籍外国投資信託 インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券（英国ボンド建て）」は、アイルランド籍のアンブレラ型投資信託とルクセンブルグ籍のアンブレラ SICAVの統合により、2018年10月5日より「ルクセンブルグ籍外国投資法人 インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券（英国ボンド建て）」へと実質的に転換される予定です。このため、ファンドの購入のお申し込み不可日は、上記の期間に応じてその適用が変更となります。以下、同じです。

- ・ファンドに関する照会先は以下のとおりです。

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせダイヤル 03-6447-3100

受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

## 第二部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 1【ファンドの性格】

##### (1)【ファンドの目的及び基本的性格】

###### ファンドの目的

ファンドの目的	<p>英国ポンド建ての公社債等を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。</p> <p>ファンドは、投資信託証券を主要投資対象とするファンド・オブ・ファンズです。「実質的な主要投資対象」とは、投資信託証券を通じて投資する投資対象をいいます。ファンドが主要投資対象とする投資信託証券は、インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンドおよびインベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）です。</p>
---------	---

###### 信託金の限度額

信託金の限度額	<p>委託会社は、受託会社と合意のうえ、金5,000億円を限度として信託金を追加することができます。</p> <p>委託会社は、受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。</p>
---------	---

###### ファンドの基本的性格

###### a. ファンドの商品分類

商品分類項目		商品分類の定義
単位型・追加型の別	単位型投信	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンド
	追加型投信	
投資対象地域	国内	目論見書または信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるもの
	海外	
	内外	
投資対象資産	株式	目論見書または信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるもの
	不動産投信	
	資産複合	

\* ファンドの商品分類を網掛け表示しております。該当する定義は上記のとおりですが、その他の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）をご覧ください。

## b. ファンドの属性区分

属性区分項目		属性区分の定義	
投資対象 資産	株式	目論見書または信託約款において、その他資産（投資信託証券）を投資対象とする旨の記載があるもの ファンドが投資対象とする投資信託証券は、債券（一般）を投資対象としており、ファンドの実質的な投資収益の源泉は債券（一般）です	
	(一般)		(大型株)
	(中小型株)		
	債券		
	(一般)		(公債)
	(社債)		(その他債券)
	(クレジット属性)		
不動産投信			
その他資産（投資信託証券（債券 一般））			
資産複合			
(資産配分固定型)	(資産配分変更型)		
決算頻度	年1回	年2回	
	年4回	年6回（隔月）	
	年12回（毎月）	日々	
	その他		
投資対象 地域	グローバル	日本	
	北米	欧州	
	アジア	オセアニア	
	中南米	アフリカ	
	中近東（中東）	エマージング	
投資形態	ファミリーファンド	一般社団法人投資信託協会の「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいいます	
	ファンド・オブ・ファンズ		
為替 ヘッジ	為替ヘッジあり（適時ヘッジ）	目論見書または信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるもの	
	為替ヘッジなし		

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

\* ファンドの属性区分を網掛け表示しております。該当する定義は上記のとおりですが、その他の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）をご覧ください。

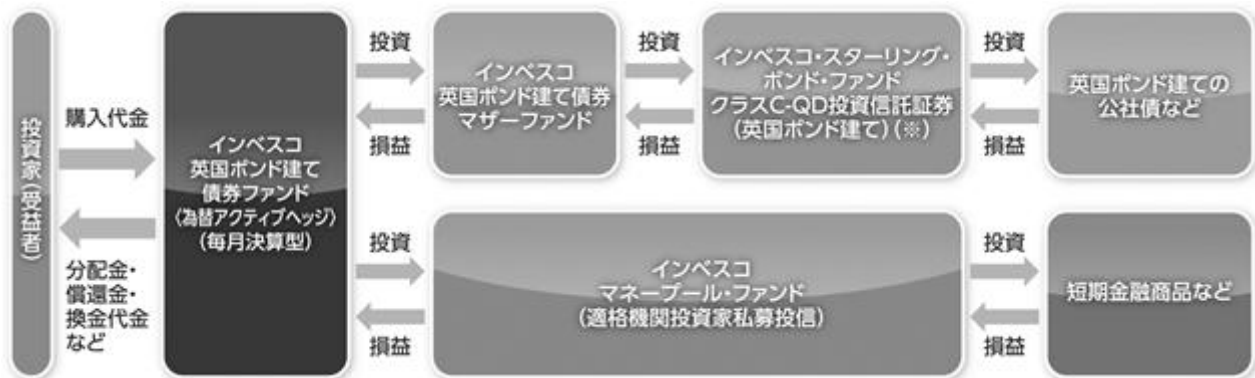
## ファンドの特色

1.	<p>主として英国ポンド建ての公社債等に投資します。</p> <p>投資適格債券を主要投資対象とし、市場動向に応じて純資産総額の50%を超えない範囲で、投資適格未滿の債券（ハイ・イールド債券や金融劣後債等）に投資することがあります。</p>
2.	<p>自由度の高い運用手法を用いて、信用格付別配分や金利感応度等を積極的に変化させます。</p>
3.	<p>為替アクティブヘッジを行います。</p> <p>実質外貨建資産について、市場全体のリスクの高さや、金利動向を定量的に捉えて、為替ヘッジ比率を切り替えます。</p> <p>* 為替アクティブヘッジについての詳細は、後記「為替アクティブヘッジ」をご参照ください。</p>
4.	<p>原則として、毎月15日（同日が休業日の場合は翌営業日）の決算日に分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>* 上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。</p>

## ファンドの仕組み

## ファンドの仕組み

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として英国ポンド建ての公社債等に実質的に投資を行うファンド・オブ・ファンズです。



\* ファンドが投資対象とする投資信託証券およびマザーファンドが投資対象とする投資信託証券は、委託会社の判断により今後変更となることがあります。

\* 「インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド」を構成する各ファンド間でスイッチングが可能です。販売会社によっては、一部のファンドのみの取り扱いとなる場合や全部または一部のファンド間でスイッチングが行えない場合があります。スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。詳しくは、販売会社にご確認下さい。

「インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券(英国ポンド建て)」は、2018年10月5日付でアイルランド籍外国投資信託から、ルクセンブルグ籍外国投資法人へと実質的に転換されます。この転換は同一の運用方針を維持したまま行われます。以下、同じです。

## 為替アクティブヘッジ

## 為替アクティブヘッジ

## &lt;為替アクティブヘッジについて&gt;

為替アクティブヘッジでは、英国ポンドの為替変動リスクがより高いと判断される局面において為替ヘッジを行うことにより、英国ポンドが対円で下落した場合の損失の低減を図ります。その他の局面においては、為替ヘッジを行わないことにより、為替差益の獲得を目指します。

為替ヘッジを行う場合は、実質的に保有する外貨建純資産の評価額に対して100%フルヘッジすることを基本とします。

具体的には、「市場全体のリスクの高さ」、「日本、英国の金利動向」の2つの指標について定量分析を行い、為替ヘッジ比率を切り替えます。

## 為替ヘッジ比率の決定プロセスのイメージ



\* 上記はイメージです。円高局面で必ず為替ヘッジを行うことを保証するものではありません。また、為替ヘッジを行っている局面で円安となった場合には、為替差益が享受できない可能性があります。

\* 機動的に為替ヘッジを行うことで、為替変動リスクの低減を目指しますが、その成果を保証するものではありません。

\* 為替ヘッジ比率の決定プロセスは、将来変更される場合があります。

為替アクティブヘッジを行うために必要な外国為替予約取引等の指図に関する権限を、シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託します。

シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッド（本拠地：香港）は、シティグループ・インク傘下の投資運用会社です。

シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドは、世界中で使用・登録されているシティグループ・インクまたはその関連会社の登録商標またはサービスマークであり、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社が利用許諾に基づき使用しています。

上記は、シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドの資料を基にインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成したものです。



## ファンドのポイント

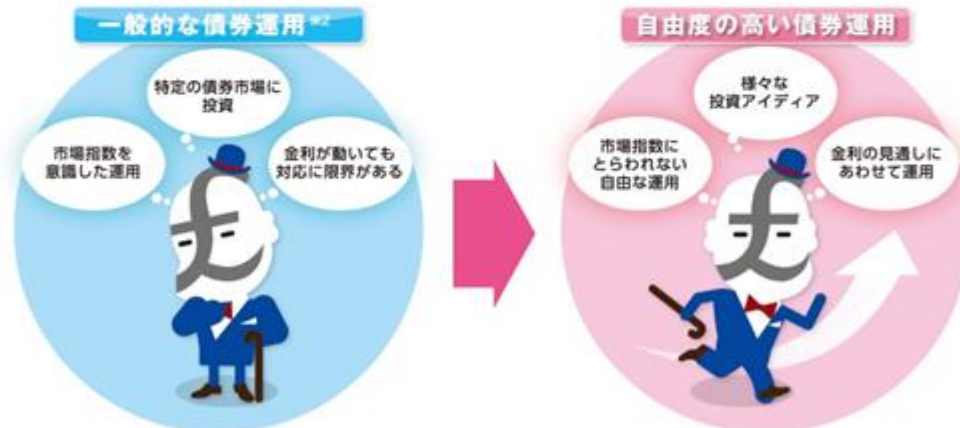
## ファンドのポイント

## 「自由度の高い運用手法」とは？

特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象、信用格付配分、金利感応度<sup>※1</sup>等を積極的に変化させる運用。

たとえば・・・

- ① 景気拡大期には魅力が増した低格付の債券への投資比率を積極的に引き上げ、より高いリターンを目指す！
- ② 金利が上昇（債券価格が下落）すると予想した場合、金利感応度を積極的に引き下げ、債券価格の下落による影響を抑制する！



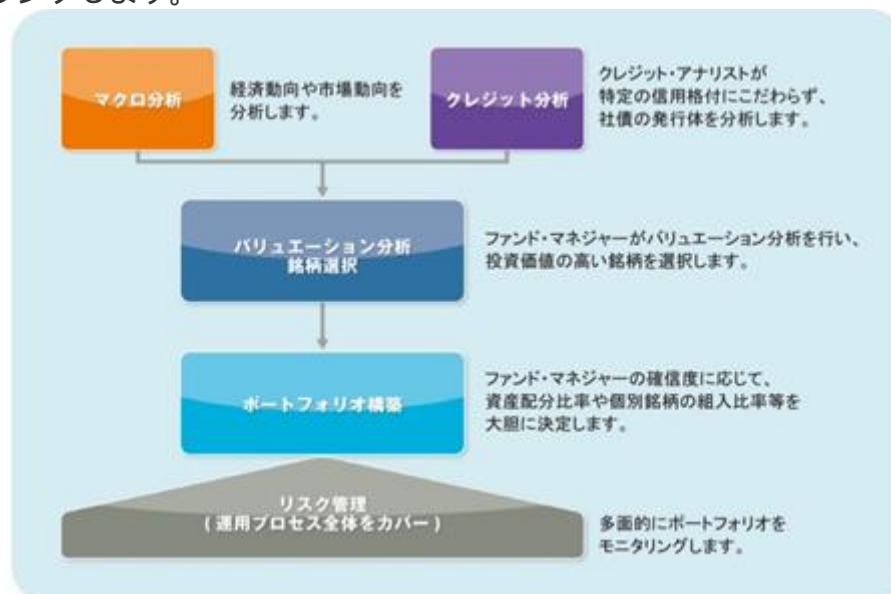
※1 金利感応度とはデュレーションを指し、金利の変化に対する債券の価格感応度を意味します。  
 ※2 債券運用手法の一例を示しており、必ずしも全ての債券運用を表しているわけではありません。

## ファンドの運用プロセス

## 運用プロセス

マクロ分析とクレジット分析に基づいて銘柄を選択し、ポートフォリオを構築していきます。

自由度の高い運用だからこそ、リスク管理が重要であるため、多面的にポートフォリオをモニタリングします。



\* 上記はファンドの実質的な投資対象であるインベスコ 英国ボンド建て債券 マザーファンドが投資する投資信託証券における運用プロセスです。

ファンドの運用プロセス等は、2018年5月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき、およびこれらに準ずる事態が生じたとき、あるいは投資信託財産の規模が上記の運用を行うに適さないものとなったときは、上記の運用ができない場合があります。

\* 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、償還の準備に入ったときなどが含まれます。

## < 投資対象とする投資信託証券の概要 >

投資対象とする投資信託証券は、委託会社の判断により変更することがあります。

インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド	
形態	証券投資信託（親投資信託）
主要投資対象	主として別に定める投資信託証券 に投資します。 別に定める投資信託証券については、後記「（参考）マザーファンドが投資対象とする投資信託証券の概要」をご覧ください。
主な投資態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別に定める投資信託証券 への投資を通じて、主として英国ポンド建ての公社債等を実質的に投資します。</li> <li>・ 投資信託証券への投資割合は、原則として、高位に保ちます。</li> <li>・ 実質外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。</li> <li>・ 投資対象とする投資信託証券は、委託者の判断により変更することがあります。</li> <li>・ 資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき、およびこれらに準ずる事態が生じたとき、あるいは投資信託財産の規模が上記の運用を行うに適さないものとなったときは、上記の運用ができない場合があります。</li> </ul> 別に定める投資信託証券については、後記「（参考）マザーファンドが投資対象とする投資信託証券の概要」をご覧ください。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・ 株式への直接投資は行いません。</li> <li>・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・ デリバティブ取引の直接利用は行いません。</li> </ul>
信託報酬等	ありません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
委託会社	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
決算日	毎年4月15日および10月15日（同日が休業日の場合は翌営業日）

## インベスコ マネーボール・ファンド（適格機関投資家私募投信）

形態	証券投資信託
主要投資対象	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
主な投資態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期公社債および短期金融商品への投資により、利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローン等で運用を行うことにより流動性の確保を図ります。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・株式への投資は、転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券、社債権者割当または株主割当により取得した株券および優先株券に限ります。</li> <li>・投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</li> <li>・同一銘柄の株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・外貨建て資産への投資は行いません。</li> <li>・デリバティブ取引は利用しません。</li> </ul>
信託報酬等	<p>信託報酬：純資産総額に対して年率0.54%（税抜き0.50%）以内の率  信託報酬の内訳：委託会社年率0.2222%以内、販売会社年率0.2222%以内、受託会社年率0.0556%以内（いずれも税抜き）</p> <p>*この他、監査費用および売買手数料等の各種費用がかかります。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
委託会社	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
決算日	毎年11月20日（同日が休業日の場合は翌営業日）

## （参考）マザーファンドが投資対象とする投資信託証券の概要

&lt; 2018年10月4日まで &gt;

ファンド名	インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド
シェアクラス	クラスC-QD投資信託証券（英国ポンド建て）
形態	アイルランド籍外国投資信託
主要投資対象	英国ポンド建ての公社債に投資します。
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、英国ポンド建ての公社債に投資することにより、収益の確保および投資信託財産の長期的な成長を目指します。</li> <li>・原則として、純資産総額の50%以上を英国ポンド建ての公社債に投資します。</li> <li>・投資適格債券を主要投資対象としますが、純資産総額の50%を超えない範囲でハイ・イールド債券に投資することがあります。</li> <li>・投資目的および効率的な運用のため、デリバティブ取引を行うことがあります。</li> <li>・原則として、対円での為替ヘッジは行いません。</li> </ul>
運用管理費用	当ファンドの平均純資産総額の年率0.50%に相当する額とします。
その他の費用	<p>管理事務代行報酬（当ファンドの平均純資産総額の年率0.20%を超えない額）、監査費用、売買手数料、保管費用等の各種費用がかかります。</p> <p>管理事務代行会社、登録・名義書換事務代行会社等への報酬をいいます。</p>
申込手数料	ありません。
解約手数料	ありません。
管理会社	インベスコ・グローバル・アセット・マネジメント・リミテッド
投資顧問会社	インベスコ・アセット・マネジメント・リミテッド
決算日	毎年11月30日
分配方針	分配は2月、5月、8月および11月の最終営業日に行われ、翌月の21日（ファンド営業日でない場合は翌営業日）に支払われます。

## &lt; 2018年10月5日以降 &gt;

ファンド名	インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド
シェアクラス	クラスC-QD投資信託証券（英国ポンド建て）
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人
主要投資対象	英国ポンド建ての公社債に投資します。
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、英国ポンド建ての公社債に投資することにより、収益の確保および投資信託財産の長期的な成長を目指します。</li> <li>・原則として、純資産総額の50%以上を英国ポンド建ての公社債に投資します。</li> <li>・投資適格債券を主要投資対象としますが、純資産総額の50%を超えない範囲でハイ・イールド債券に投資することがあります。</li> <li>・投資目的および効率的な運用のため、デリバティブ取引を行うことがあります。</li> <li>・原則として、対円での為替ヘッジは行いません。</li> </ul>
運用管理費用	当ファンドの平均純資産総額の年率0.50%に相当する額とします。
その他の費用	<p>管理事務代行報酬（当ファンドの平均純資産総額の年率0.20%を超えない額）、監査費用、売買手数料、保管費用等の各種費用がかかります。</p> <p>管理事務代行会社、登録・名義書換事務代行会社等への報酬をいいます。</p>
申込手数料	ありません。
解約手数料	ありません。
管理会社	インベスコ・マネジメント・エス・エイ
投資顧問会社	インベスコ・アセット・マネジメント・リミテッド
決算日	毎年2月末日
分配方針	分配は2月、5月、8月および11月の最終営業日に行われ、翌月の11日（ファンド営業日でない場合は翌営業日）に支払われます。

ファンドが投資対象とする投資信託証券およびマザーファンドが投資対象とする投資信託証券は、委託会社の判断により今後変更となることがあります。

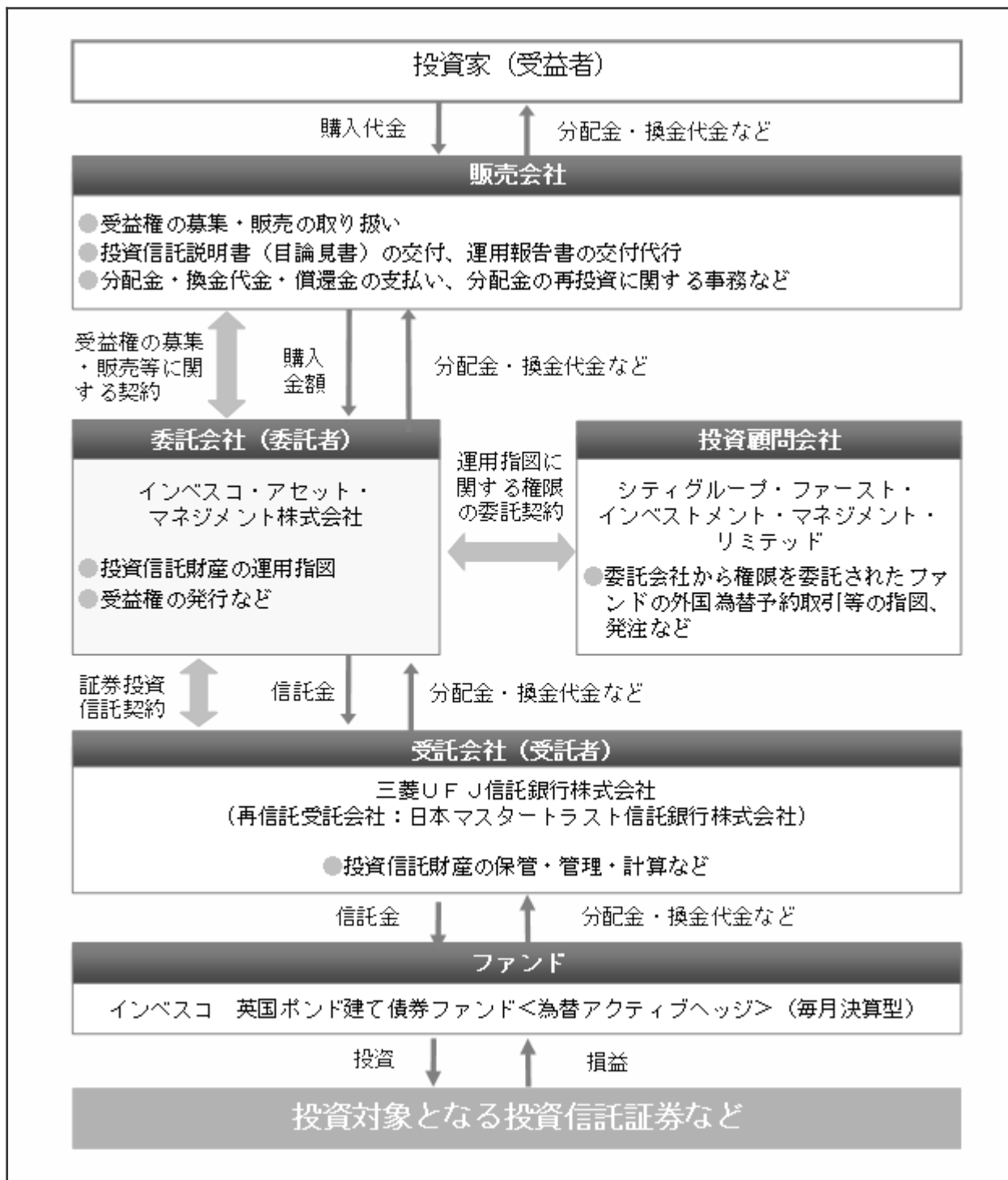
## (2) 【ファンドの沿革】

2016年1月29日	信託契約締結、ファンド設定、運用開始
------------	--------------------

## (3) 【ファンドの仕組み】

## ファンドの運営の仕組み

## a. ファンドの関係法人の概要



## b. 委託会社およびファンドの関係法人の役割

委託会社 インベスコ・アセット・マネジメント株式会社	投資信託財産の運用指図、信託約款の届け出、受託会社との信託契約の締結・解約の実行、受益権の発行、投資信託説明書（交付目論見書）・投資信託説明書（請求目論見書）・運用報告書の作成、投資信託財産の計算（受益権の基準価額の計算）および投資信託財産に関する帳簿書類の作成などを行います。
受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 ＜再信託受託会社＞ 日本マスタートラスト信託銀行株式会社	委託会社との信託契約の締結、投資信託財産の保管・管理・計算などを行います。 なお、日本マスタートラスト信託銀行株式会社に信託事務の一部を委託することがあります。
販売会社	受益権の募集・販売の取り扱いを行い、投資信託説明書（交付目論見書）・投資信託説明書（請求目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資に関する事務などを行います。
投資顧問会社 シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッド	委託会社よりファンドの外国為替予約取引等の指図に関する権限の一部の委託を受けて、為替アクティブヘッジにかかる運用指図、投資判断・発注などを行います。

## c. 委託会社がファンドの関係法人と締結している契約等の概要

受託会社と締結している契約： 証券投資信託契約	信託約款に基づき締結され、運用方針、投資制限、委託会社・受託会社の業務、受益者の権利、信託報酬の総額、信託期間などファンドの運営に関する事項が規定されています。
販売会社と締結している契約： 受益権の募集・販売等に関する契約	受益権の募集・販売の取り扱い、分配金・換金代金・償還金の支払いに関する事務、その他これらに付随する事務および手続きなどの内容が規定されています。
投資顧問会社と締結している契約： 運用指図に関する権限の委託契約	委託会社が投資顧問会社に委託するファンドの運用指図に関する業務の内容、当該業務にかかる投資顧問会社の報酬、契約の期間および終了手続きなどが規定されています。

## 委託会社等の概況

名称（商号等）	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社 （金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号）			
資本金	4,000百万円（2018年5月31日現在）			
沿革	<p>1986年：エムアイエム・トウキョウ株式会社（後のインベスコ投資顧問株式会社）設立</p> <p>1990年：エムアイエム投信株式会社（後のインベスコ投信株式会社）設立</p> <p>1996年：インベスコ投資顧問株式会社とインベスコ投信株式会社が合併し、インベスコ投信投資顧問株式会社に社名変更</p> <p>1998年：エル・ジー・ティー投信・投資顧問株式会社と合併</p> <p>2014年：インベスコ・アセット・マネジメント株式会社に社名変更</p>			
大株主の状況	（2018年5月31日現在）			
	名称	住所	所有株式数	所有比率
	インベスコ・ ファー・イース ト・リミテッド	Perpetual Park, Perpetual Park Drive, Henley-on-Thames, Oxfordshire, RG9 1HH, United Kingdom	40,000株	100%



## 2【投資方針】

### (1)【投資方針】

基本方針	この投資信託は、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。
主な投資態度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ マザーファンド受益証券を通じて、別に定める投資信託証券へ投資し、主として英国ポンド建ての公社債等に実質的に投資します。</li><li>・ マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。</li><li>・ インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）を通じて、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。</li><li>・ 実質外貨建資産については、市場全体のリスクの高さや、金利動向を定量的に捉えて、為替ヘッジ比率を切り替えます。</li><li>・ シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドに外国為替予約取引等の指図に関する権限の一部を委託します。</li><li>・ マザーファンド受益証券を通じて投資対象とする投資信託証券は、委託者の判断により変更することがあります。</li><li>・ 資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき、およびこれに準ずる事態が生じたとき、あるいは投資信託財産の規模が上記の運用を行うに適さないものとなったときは、上記の運用ができない場合があります。</li></ul>

## (2)【投資対象】

投資対象とする資産の種類（特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるもの））	<ul style="list-style-type: none"> <li>a . 有価証券</li> <li>b . 約束手形</li> <li>c . 金銭債権</li> </ul>
投資対象とする資産の種類（特定資産以外の資産）	<ul style="list-style-type: none"> <li>a . 為替手形</li> </ul>
投資対象とする有価証券	<p>委託会社は、信託金を、主としてマザーファンドの受益証券およびインベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）の受益権のほか、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a . コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等</li> <li>b . 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前 a . の証券の性質を有するもの</li> <li>c . 国債証券、地方債証券、特別の法律により法人の発行する債券および社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券および短期社債等を除きます。）</li> <li>d . 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）</li> </ul> <p>* 前記 c . の証券を「公社債」といい、公社債にかかる運用の指図は買い現先取引（売戻し条件付の買い入れ）および債券貸借取引（現金担保付き債券借入れ）に限り行うことができるものとしします。</p>
投資対象とする金融商品	<p>委託会社は、信託金を、以下の金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a . 預金</li> <li>b . 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）</li> <li>c . コール・ローン</li> <li>d . 手形割引市場において売買される手形</li> </ul> <p>* 前記「投資対象とする有価証券」にかかわらず、ファンドの設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は、信託金を上記の金融商品により運用することができます。</p>

## (3) 【運用体制】

ファンドの運用体制の概要	
<pre> graph TD     RMC[リスク管理委員会 (RMC)]     Compliance[コンプライアンス部]     ORMC[運用リスク管理委員会(ORMC)]     Product[プロダクト・マネジメント本部]      RMC -- リスク管理指示 --&gt; Compliance     Compliance -- 報告 --&gt; RMC     RMC -- 管理 --&gt; ORMC     ORMC -- 報告 --&gt; RMC     Compliance -- リスク管理指示 --&gt; Product     Product -- 報告 --&gt; Compliance     Compliance -- モニタリング 是正指示 --&gt; Product     Product -- 是正報告 --&gt; Compliance </pre>	
内部管理および意思決定を監督する組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス部（5名程度）は、ファンドのガイドラインの遵守状況のモニタリングを行い、その結果をリスク管理委員会に報告します。</li> <li>・プロダクト・マネジメント本部（15名程度）は、投資対象となる投資信託証券のパフォーマンス状況などを、運用リスク管理委員会に報告し、定性・定量面におけるモニタリングを継続的に実施します。</li> <li>・運用リスク管理委員会（5名程度）は、プロダクト・マネジメント本部からの報告を基に、運用の適切性・妥当性を検証、審議して、その結果をリスク管理委員会へ報告します。</li> </ul> <p>* 「3 投資リスク (3)投資リスクに対する管理体制」もご覧下さい。</p>
運用に関する社内規定	ファンドの運用に関する社内規定として「運用業務規程」、リスク管理に関する社内規定として「リスク管理規程」があります。
ファンドの関係法人に対する管理体制	受託会社などの管理・統制については、外部監査法人による「内部統制監査報告書」を入手し、検証・モニタリングなどを行っております。

上記運用体制における組織名称等は、2018年5月31日現在のものであり、委託会社の組織変更などにより変更となる場合があります。

## (4)【分配方針】

ファンドの決算日	毎月15日（同日が休業日の場合は翌営業日）。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰り越し分を含む配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</li> <li>・ 分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。</li> <li>・ 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</li> </ul>
分配金の支払い	<p>a. 「分配金再投資コース」 分配金は、税引き後無手数料で再投資されます。</p> <p>b. 「分配金受取りコース」 分配金は、原則として決算日から起算して5営業日目までに販売会社でお支払いを開始します。</p> <p>* 分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該分配金にかかる決算日以前において、一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該分配金にかかる決算日以前に設定された受益権で、取得申込代金支払い前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については、原則として取得申込者とします。）に支払います。</p> <p>* 「分配金再投資コース」の分配金の再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。</p>

上記は、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

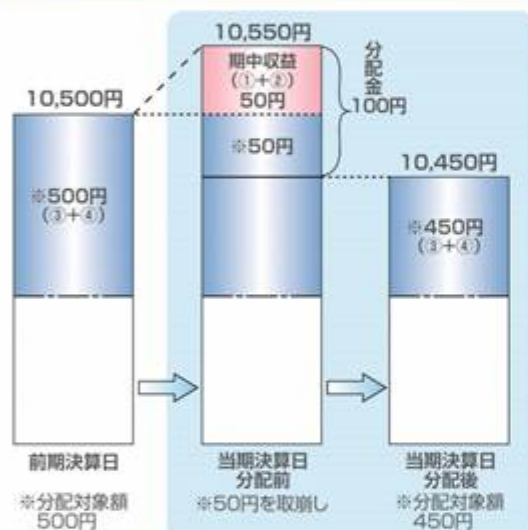
■分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



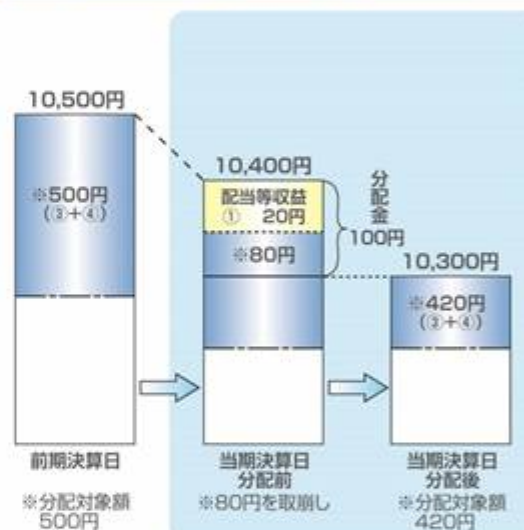
■分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算日から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算日から基準価額が下落した場合

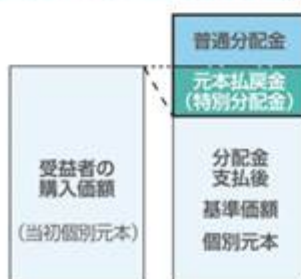


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

\*上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

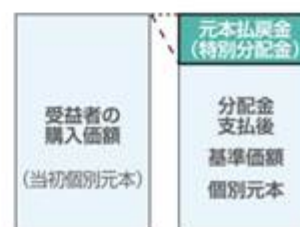
■受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



\*元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## (5)【投資制限】

## 信託約款上の投資制限

投資信託証券への投資制限（運用の基本方針）	投資信託証券（マザーファンド受益証券を含みます。）への投資割合には、制限を設けません。
株式への投資制限（運用の基本方針）	株式への直接投資は行いません。
外貨建資産への投資制限（運用の基本方針）	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。  実質投資割合とは、ファンドに属する資産の時価総額と、投資対象する投資信託証券に属する資産のうちファンドに属するとみなした額（ファンドに属する投資信託証券の受益証券の時価総額に、投資信託証券の純資産総額に占める当該資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。）との合計額のファンドの純資産総額に対する割合をいいます。以下同じです。
デリバティブ取引の利用（運用の基本方針）	デリバティブ取引の直接利用は行いません。
信用リスク集中回避のための投資制限（第20条）	一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャー及びデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する実質比率は、原則としてそれぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該実質比率を超えることとなった場合には、委託者は一般社団法人投資信託協会の規則にしたがい当該実質比率以内となるよう調整を行うものとします。
公社債の借り入れ（第21条）	<ul style="list-style-type: none"> <li>投資信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借り入れの指図をすることができます。</li> <li>当該公社債の借り入れを行うにあたり担保の提供が必要と認められたときは、担保の提供の指図を行います。</li> <li>借り入れにかかる品借料は、投資信託財産中から支弁します。</li> </ul>
特別の場合の外貨建有価証券への投資制限（第22条）	わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、外貨建有価証券への投資が制約されることがあります。
外国為替予約取引の指図（第23条）	投資信託財産に属する実質外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
資金の借り入れ（第29条）	<ul style="list-style-type: none"> <li>投資信託財産の効率的な運用および運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借り入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資にかかる分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借り入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。</li> <li>当該借入金をもって有価証券等の運用は行いません。</li> <li>借入金の利息は投資信託財産中から支弁します。</li> </ul>

上記の投資制限の詳細は、信託約款をご覧ください。

## 法令に基づく投資制限

デリバティブ取引にかかる投資制限（金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号）	委託会社は、信託財産に関して、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ委託会社が定めた合理的な方法により算出した額が当該信託財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引（新株予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書にかかる取引および選択権付債券売買を含みます。）を行い、または継続することを受託会社に指図しません。
同一の法人の発行する株式の投資制限（投資信託及び投資法人に関する法律第9条）	委託会社は、同一の法人の発行する株式について、委託会社が運用指図を行うすべての委託者指図型投資信託につき投資信託財産として保有する当該株式にかかる議決権の総数が、当該株式にかかる議決権総数の100分の50を超えることとなる場合、投資信託財産をもって取得することを受託会社に指図しません。

### 3【投資リスク】

投資信託はリスクを含む商品であり、ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に外国の公社債など値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は金利動向などによって変動し、組入公社債の発行者の倒産や財務状況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建ての資産は、為替変動による影響も受けれます。したがって、ご投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

委託会社の指図に基づく行為により投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

投資信託は預貯金とは異なります。

投資信託は、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。

ご投資家の皆さまにおかれましては、ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえお申し込みください。

#### (1)基準価額の変動要因等

##### 基準価額の主な変動要因

公社債にかかるリスク（価格変動リスク・信用リスク）	公社債の価格は、一般的に金利が低下した場合は上昇し、金利が上昇した場合は下落します（値幅は、残存期間、発行者、債券の種類などにより異なります。）。また、公社債の発行者の財務状況の悪化などの信用状況の変化、またはそれが予想される場合、価格が下落することがあります。この影響により、基準価額が下落することがあります。
デフォルト・リスク	利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合（デフォルト）、またはできなくなる場合、公社債の価格が大きく下落することがあります。この影響により、基準価額が下落することがあります。
デリバティブ（金融派生商品）に関するリスク	投資対象ファンドにおいては、金利、通貨、クレジットなどにかかるデリバティブ（金融派生商品）を用いることがあります。デリバティブの利用はヘッジ目的に限定されず、効率的な運用を目的としても用いられます。デリバティブの収益や時価は市場動向などによって変動するため、また基礎となる指標（金利、通貨、クレジットなど）と異なる動きをする場合もあるため、基準価額の下落要因となることがあります。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の財務状況の変化などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、基準価額が下落したり、新たな投資や投資資金が回収できなくなる場合があります。
流動性リスク	流動性や市場性が低い有価証券等について、期待される価格や希望する数量で売却できないことにより、基準価額が下落することがあります。



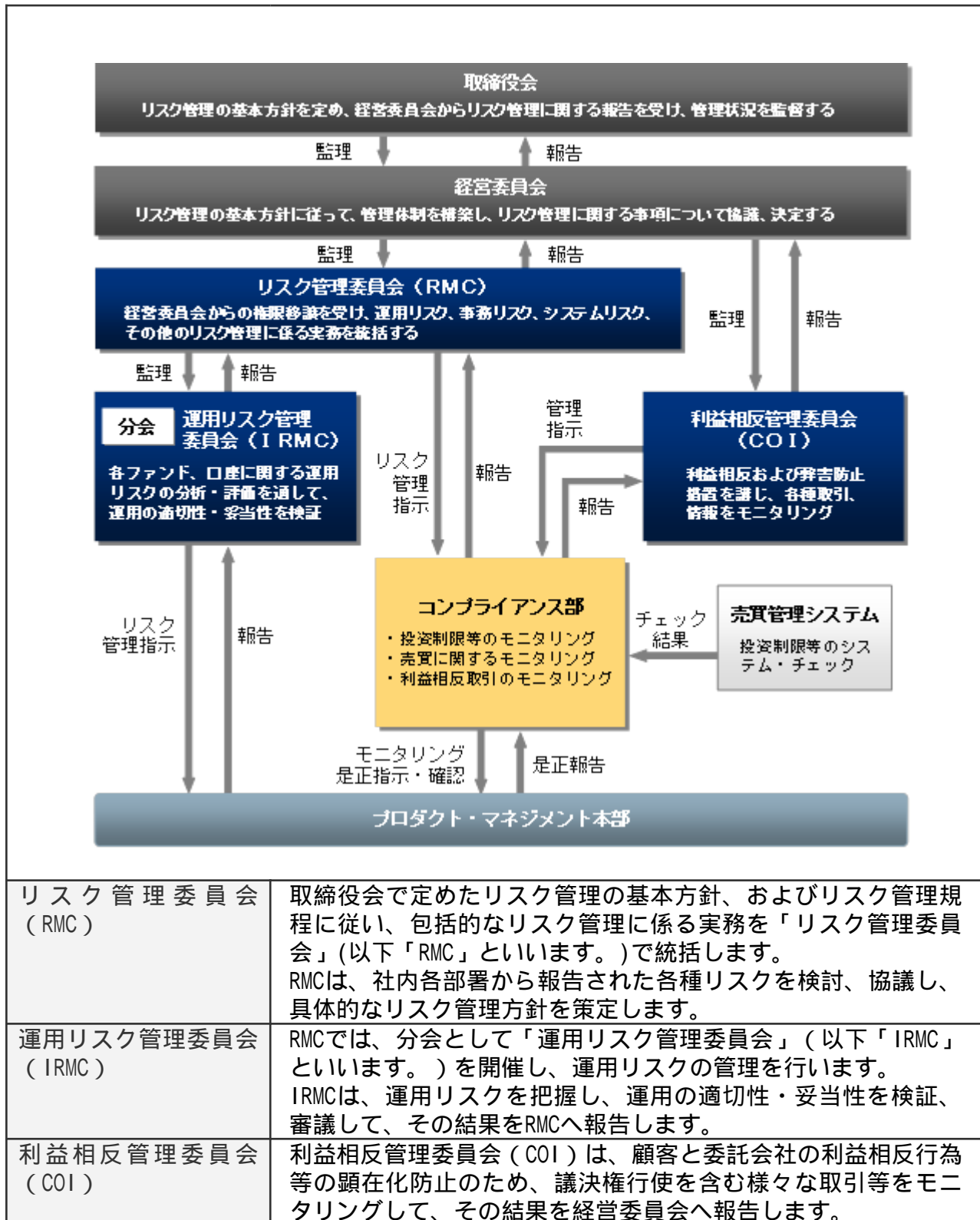
為替変動リスク	<p>為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給、その他の要因により大幅に変動する場合があります。</p> <p>為替ヘッジを行わない場合、為替変動の影響を直接受けます。組入外貨建資産について日本円で評価する際、当該外貨の為替レートが円高方向に変動した場合には、基準価額が下落することがあります。</p> <p>為替ヘッジを行う場合、市場全体のリスクの高さや、金利動向を定量的に捉えて、為替ヘッジ比率を切り替えて為替ヘッジ（原則として対円でのフルヘッジ）を行い、為替変動リスクを低減することに努めますが、為替ヘッジを行うことによって、為替変動の影響が排除できるとは限りません。また、円金利が為替ヘッジ対象通貨建ての金利より低い場合、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかります。</p>
---------	---

#### 基準価額のその他の変動要因等

分配金に関する留意点	<p>分配金の支払いは、計算期間中に発生した経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）を超過して行われる場合があります。したがって、分配金の水準のみからファンドの収益率を求めることはできません。また、分配金はファンドの純資産総額から支払われるため、分配金支払い後の純資産総額は減少し、基準価額が下落する要因となります。投資者の個別元本によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。</p>
換金資金手当によるリスク	<p>短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合、市場の規模や動向によっては、市場実勢を押し下げ、当初期待された価格で有価証券等を売却できないことがあります。</p>
コール・ローン等の相手先に関する信用リスク	<p>コール・ローン等の短期金融商品で運用する場合、相手先の債務不履行により損失が発生することがあります。この影響により、基準価額が下落することがあります。</p>
ファミリーファンド方式にかかるリスク	<p>マザーファンド受益証券に投資する他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入有価証券等の売買が行われた場合などには、組入有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。</p>

## (2)投資リスクに対する管理体制

## 投資リスク管理体制の概要



## 関係部署の役割

コンプライアンス部	ファンドの信託約款や法令等で規定されているガイドラインの遵守状況などをモニタリングし、その結果をRMCに報告します。また、必要に応じてプロダクト・マネジメント本部へ是正を指示し、是正状況を確認します。
プロダクト・マネジメント本部	投資対象となる投資信託証券のパフォーマンス状況などを運用リスク管理委員会に報告し、定性・定量面におけるモニタリングを継続的に実施します。

## (参考) インベスコ・アセット・マネジメント・リミテッドにおける投資リスク管理体制

以下は、マザーファンドが投資対象とする投資信託証券「インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド」の投資顧問会社であるインベスコ・アセット・マネジメント・リミテッドにおける投資リスク管理体制です。

GPMR (グローバル・パフォーマンス・メジャメント・アンド・リスク) 部門	グローバル・パフォーマンス・メジャメント・アンド・リスク部門は運用チームから独立したパフォーマンス計測、リスク管理専門の部門であり、パフォーマンスの要因分析やポートフォリオ・リスク等、包括的なリスク・レポートを作成、運用チームに提供し、モニタリングを行います。
CRMC (コーポレート・リスク・マネジメント委員会)	コーポレート・リスク・マネジメント委員会はあらゆるオペレーショナル・リスクやビジネス・リスクをモニターする組織です。投資、オペレーション、ビジネスにおけるリスクを適時トップダウンに特定、評価、監視、回避することを目的としています。

上記「投資リスクに対する管理体制」における組織名称などは、委託会社の組織変更などにより変更となる場合があります。この場合においても、ファンドの基本的な投資リスク管理体制が変更されるものではありません。

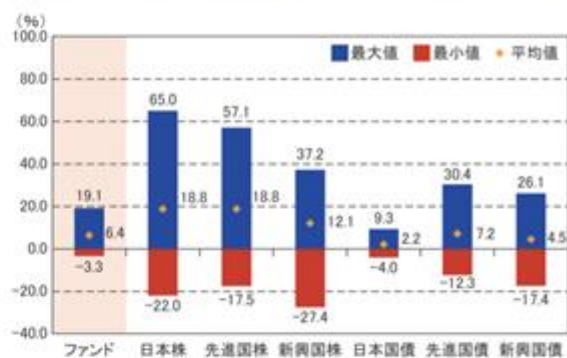
## &lt;参考情報&gt;



## ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移



## ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



ファンド : 2017年1月～2018年5月

代表的な資産クラス : 2013年6月～2018年5月

- \* 上記、各グラフのファンドに関するデータは、課税前の分配金を再投資したものとみなして計算した分配金再投資基準価額を用いています。実際の基準価額および基準価額に基づいて計算した騰落率とは異なる場合があります。
- \* 「ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較」は、ファンドと他の代表的な資産クラスの値動きを定量的に比較できるように作成したものです。すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示しています。
- \* 代表的な資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数は以下の通りです。海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースのものを使用しています。

日本株	<p><b>TOPIX (東証株価指数) (配当込み)</b> TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。</p>
先進国株	<p><b>MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)</b> MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。</p>
新興国株	<p><b>MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)</b> MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート(WM/ロイター値)を乗じて算出しています。</p>
日本国債	<p><b>NOMURA-BPI国債</b> NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。</p>
先進国債	<p><b>FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)</b> FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。</p>
新興国債	<p><b>JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)</b> JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート(WM/ロイター値)を乗じて算出しています。 指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase &amp; Co.及び関係会社(「JPモルガン」)に帰属しております。JPモルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JPモルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。</p>

## 4【手数料等及び税金】

## (1)【申込手数料】＜投資者が直接的に負担する費用＞

購入時手数料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 購入時手数料<sup>1</sup>は、購入口数、購入金額<sup>2</sup>または購入代金<sup>3</sup>などに応じて、購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める3.24%（税抜き3.00%）以内の手数料率を乗じて得た額とします。</li> <li>・ 購入時手数料は、商品および関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として、販売会社にお支払いいただきます。</li> </ul> <p>詳しくは、お申し込みの販売会社にお問い合わせください。</p> <p>1 購入時手数料には、購入時手数料にかかる消費税および地方消費税に相当する金額（以下「消費税等相当額」といいます。）がかかります。</p> <p>2 「購入金額」とは、「購入の申込受付日の翌営業日の基準価額×購入口数」により計算される金額をいいます。</p> <p>3 「購入代金」とは、「購入金額+購入時手数料(税込み)」により計算される金額をいいます。</p>
分配金の再投資にかかる手数料	「分配金再投資コース」において分配金を再投資する場合は、無手数料とします。

## (2)【換金(解約)手数料】＜投資者が直接的に負担する費用＞

換金（解約）手数料	ファンドの換金（解約）にあたり、手数料はありません。
信託財産留保額	ありません。

\* 「信託財産留保額」とは、換金（解約）する受益者と償還時まで投資を続ける受益者との間の公平性を確保するため、信託期間満了前に換金（解約）する受益者から徴収する一定の金額をいいます。差し引かれた信託財産留保額は、信託財産に留保されます。

## (3) 【信託報酬等】 &lt; 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 &gt;

信託報酬の額	<p>投資信託財産の純資産総額に年率1.1124%（税抜き1.03%）を乗じて得た額とします。</p> <p>なお、投資対象となる投資信託証券においても信託報酬等が別途かかりますので、受益者が負担する実質的な信託報酬率は、投資信託財産の純資産総額に対して合計で年率1.6124%（税込み）程度 となります。</p> <p>この値はあくまでも目安であり、実際の投資信託証券の投資比率によって、実質的な信託報酬率は変動します。</p> <p>（参考）投資対象となる投資信託証券の信託報酬率等</p> <table border="1" data-bbox="336 488 1394 954"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 488 628 528">投資信託証券の名称</th> <th data-bbox="628 488 1394 528">信託報酬率等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 528 628 801">インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド</td> <td data-bbox="628 528 1394 801"> <p>信託報酬はありません。</p> <p>投資対象とする投資信託証券において次の費用がかかります。</p> <p>[インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券（英国ポンド建て）]</p> <p>&lt; 運用管理費用 &gt;</p> <p>平均純資産総額の年率0.50%に相当する額</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 801 628 954">インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）</td> <td data-bbox="628 801 1394 954"> <p>&lt; 信託報酬 &gt;</p> <p>純資産総額に対して年率0.54%（税抜き0.50%）以内の率</p> <p>* 上記の信託報酬率等の他、監査費用や売買委託手数料等の各種費用がかかります。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	投資信託証券の名称	信託報酬率等	インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド	<p>信託報酬はありません。</p> <p>投資対象とする投資信託証券において次の費用がかかります。</p> <p>[インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券（英国ポンド建て）]</p> <p>&lt; 運用管理費用 &gt;</p> <p>平均純資産総額の年率0.50%に相当する額</p>	インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）	<p>&lt; 信託報酬 &gt;</p> <p>純資産総額に対して年率0.54%（税抜き0.50%）以内の率</p> <p>* 上記の信託報酬率等の他、監査費用や売買委託手数料等の各種費用がかかります。</p>												
投資信託証券の名称	信託報酬率等																		
インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド	<p>信託報酬はありません。</p> <p>投資対象とする投資信託証券において次の費用がかかります。</p> <p>[インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券（英国ポンド建て）]</p> <p>&lt; 運用管理費用 &gt;</p> <p>平均純資産総額の年率0.50%に相当する額</p>																		
インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）	<p>&lt; 信託報酬 &gt;</p> <p>純資産総額に対して年率0.54%（税抜き0.50%）以内の率</p> <p>* 上記の信託報酬率等の他、監査費用や売買委託手数料等の各種費用がかかります。</p>																		
信託報酬の配分	<p>信託報酬の配分は、以下の通り（税抜き）とします。</p> <table border="1" data-bbox="336 1025 1394 1115"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 1025 549 1115">配分（年率）</th> <th data-bbox="549 1025 761 1115">委託会社</th> <th data-bbox="761 1025 971 1115">販売会社</th> <th data-bbox="971 1025 1184 1115">受託会社</th> <th data-bbox="1184 1025 1394 1115">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 1115 549 1126"></td> <td data-bbox="549 1115 761 1126">0.35%</td> <td data-bbox="761 1115 971 1126">0.65%</td> <td data-bbox="971 1115 1184 1126">0.03%</td> <td data-bbox="1184 1115 1394 1126">1.03%</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 委託会社が受け取る報酬には、ファンドの外国為替予約取引等の指図に関する権限の委託先である、シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドへの報酬（年率0.20%（税抜き））が含まれています。</p> <p>信託報酬の配分先および役務の内容は以下の通りです。</p> <table border="1" data-bbox="336 1294 1394 1541"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 1294 549 1335">配分先</th> <th data-bbox="549 1294 1394 1335">役務の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 1335 549 1424">委託会社</td> <td data-bbox="549 1335 1394 1424">ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1424 549 1496">販売会社</td> <td data-bbox="549 1424 1394 1496">購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1496 549 1541">受託会社</td> <td data-bbox="549 1496 1394 1541">ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等</td> </tr> </tbody> </table>	配分（年率）	委託会社	販売会社	受託会社	合計		0.35%	0.65%	0.03%	1.03%	配分先	役務の内容	委託会社	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等	販売会社	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等	受託会社	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
配分（年率）	委託会社	販売会社	受託会社	合計															
	0.35%	0.65%	0.03%	1.03%															
配分先	役務の内容																		
委託会社	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等																		
販売会社	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等																		
受託会社	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等																		
支払方法	<p>毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支弁するものとします。</p>																		

## (4) 【その他の手数料等】 &lt; 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 &gt;

## 信託事務の諸経費

該当する費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資産を外国で保管する場合の費用</li> <li>・借入金の利息、融資枠の設定に要する費用</li> <li>・受託会社の立て替えた立替金の利息</li> <li>・投資信託財産に関する租税</li> <li>・信託事務の処理等に要する諸費用</li> </ul>
計算方法等	運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額または計算方法を記載できません。
支払方法	受益者の負担とし、投資信託財産中から実費を支弁します。

## その他諸費用

該当する費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査費用（ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用）</li> <li>・法律顧問および税務顧問への報酬</li> <li>・受益権の管理事務等に関連する費用</li> <li>・有価証券届出書、有価証券報告書および臨時報告書の作成および届出または提出にかかる費用</li> <li>・目論見書の作成、印刷および交付にかかる費用</li> <li>・ファンドの受益者に対してする公告にかかる費用、ならびに信託約款の変更または信託契約の解約にかかる事項を記載した書面の作成、印刷および交付にかかる費用</li> <li>・運用報告書の作成、印刷および交付にかかる費用</li> </ul>		
計算方法等	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">その他諸費用 上限固定率</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">純資産総額に対して年率0.108%（税抜き0.10%）</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託会社は、その他諸費用の支払いを投資信託財産のために行い、支払金額の支払いを投資信託財産から受けることができます。</li> <li>・委託会社は、実際に支払う金額の支弁を受ける代わりに、その他諸費用の金額をあらかじめ合理的に見積もった結果として、投資信託財産の純資産総額の年率0.108%（税抜き0.10%）相当額を上限とし一定の率を定め、かかるその他諸費用の合計額とみなし、ファンドより受領することができます。</li> <li>・委託会社は、投資信託財産の規模等を考慮して、信託期間中に、上限、固定率または固定金額を合理的に計算された範囲内で変更することができます。</li> </ul>	その他諸費用 上限固定率	純資産総額に対して年率0.108%（税抜き0.10%）
その他諸費用 上限固定率			
純資産総額に対して年率0.108%（税抜き0.10%）			
支払方法	毎日計上し、毎計算期末または信託終了のときに投資信託財産中から、消費税等相当額とともに、委託会社に支払われます。		

## (参考) 投資対象となる投資信託証券のその他の費用

投資信託証券の名称	その他の費用
インベスコ 英国ポンド建て債券マザーファンド	投資対象とする投資信託証券において、管理事務代行報酬（平均純資産総額の年率0.20%を超えない額）、監査費用、売買手数料、保管費用等の各種費用がかかります。

上記、ファンドの費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

## &lt;照会先&gt;

上記、手数料等に関する詳細は、お申し込みの販売会社または以下の照会先へお問い合わせください。

## 照会先

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせダイヤル 03-6447-3100

受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>



## (5)【課税上の取扱い】

ファンドは、課税上は株式投資信託として取り扱われます。日本の居住者（法人を含む。）である受益者に対する課税上の取扱いは、以下のとおりです。

## 個人の受益者に対する課税の取扱い

分配金に対する課税	<ul style="list-style-type: none"> <li>分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として、以下の税率による源泉徴収が行われます。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="494 403 1396 560"> <tr> <td data-bbox="502 414 877 481">2037年12月31日まで</td> <td data-bbox="885 414 1388 481">20.315% (所得税15.315%および地方税5%)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="502 492 877 560">2038年1月1日以降</td> <td data-bbox="885 492 1388 560">20% (所得税15%および地方税5%)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>原則として確定申告は不要ですが、確定申告により総合課税（配当控除は適用されません。）または申告分離課税を選択することも可能です。</li> </ul>	2037年12月31日まで	20.315% (所得税15.315%および地方税5%)	2038年1月1日以降	20% (所得税15%および地方税5%)
2037年12月31日まで	20.315% (所得税15.315%および地方税5%)				
2038年1月1日以降	20% (所得税15%および地方税5%)				
解約金および償還金に対する課税	<ul style="list-style-type: none"> <li>解約時および償還時の差益（譲渡益）については、譲渡所得として、以下の税率による申告分離課税が適用されます。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="494 750 1396 907"> <tr> <td data-bbox="502 761 877 828">2037年12月31日まで</td> <td data-bbox="885 761 1388 828">20.315% (所得税15.315%および地方税5%)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="502 840 877 907">2038年1月1日以降</td> <td data-bbox="885 840 1388 907">20% (所得税15%および地方税5%)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>原則として確定申告が必要ですが、特定口座（源泉徴収あり）を利用した場合は、申告不要です。</li> </ul>	2037年12月31日まで	20.315% (所得税15.315%および地方税5%)	2038年1月1日以降	20% (所得税15%および地方税5%)
2037年12月31日まで	20.315% (所得税15.315%および地方税5%)				
2038年1月1日以降	20% (所得税15%および地方税5%)				
損益通算について	<ul style="list-style-type: none"> <li>解約時および償還時の差損（譲渡損）については、確定申告により他の上場株式等の譲渡益、上場株式等の配当所得および特定公社債等の利子所得（申告分離課税を選択したものに限りま）と損益通算することができます。</li> <li>解約時および償還時の差益（譲渡益）、普通分配金および特定公社債等の利子所得（申告分離課税を選択したものに限りま）については、他の上場株式等の譲渡損と損益通算することができます。</li> </ul> <p>* 特定口座にかかる課税上の取扱いにつきましては、販売会社にお問い合わせください。</p>				

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」について

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。他の口座で生じた配当所得・譲渡所得との損益通算はできません。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

## 法人の受益者に対する課税の取り扱い

分配金、解約金および償還金に対する課税	・ 分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、以下の税率により所得税が源泉徴収されます。	
	2037年12月31日まで	15.315%
	2038年1月1日以降	15%
・ 源泉徴収された所得税は、所有期間に応じて法人税額より控除することができます。		

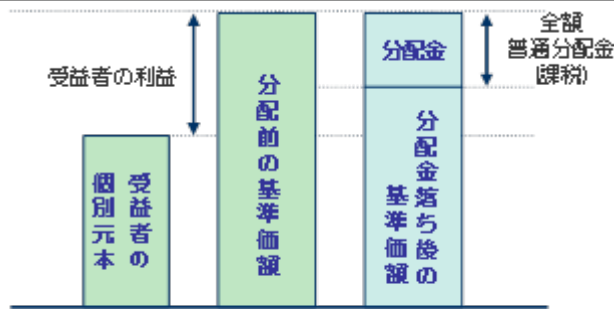
## 個別元本について

- ・ 追加型株式投資信託について、受益者ごとの取得時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等相当額は含まれません。）が当該受益者の元本（以下「個別元本」といいます。）にあたります。
- ・ 受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、原則として個別元本は、当該受益者が追加取得を行う都度、当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・ 受益者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。  
「元本払戻金(特別分配金)」については、下記「分配金の課税について」をご参照ください。

## 分配金の課税について

追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者ごとの元本の一部払い戻しに相当する部分)の区分があります。

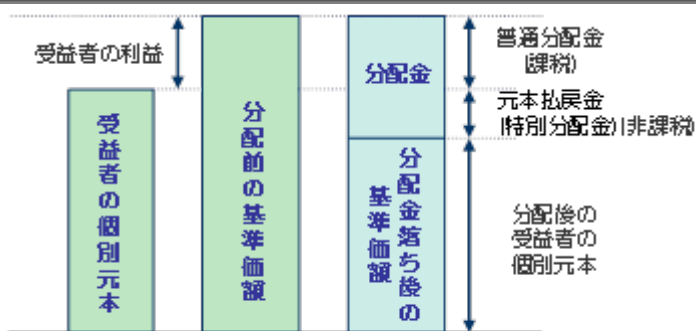
## 普通分配金



※上図は、イメージ図であり 個別元本、基準価額、分配金を示唆するものではありません。

分配金落ち後の基準価額が、受益者の個別元本と同額または上回っている場合、分配金の全額が普通分配金となります。

## 元本払戻金(特別分配金)



※上図は、イメージ図であり 個別元本、基準価額、分配金を示唆するものではありません。

分配金落ち後の基準価額が、受益者の個別元本を下回っている場合、その下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となり、分配金から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。

上記は、2018年5月末現在の情報に基づくものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。その結果、上記の記載内容に変更が生じることがあります。

税金の取り扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 5【運用状況】

## (1)【投資状況】(2018年5月31日現在)

投資資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	10,213,695	98.38
投資信託受益証券	日本	49,886	0.48
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		117,372	1.13
合計(純資産総額)		10,380,953	100.00

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。以下同じです。

## (参考)インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド

投資資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	アイルランド	1,618,862,389	99.04
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		15,563,995	0.95
合計(純資産総額)		1,634,426,384	100.00

## (2)【投資資産】(2018年5月31日現在)

## 【投資有価証券の主要銘柄】

国/地域	種類	銘柄名	数量 (口数)	帳簿価額単価 帳簿価額金額 (円)	評価額単価 評価額金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託 受益証券	インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド	11,692,840	0.9020 10,547,655	0.8735 10,213,695	98.38
日本	投資信託 受益証券	インベスコ マネープール・ ファンド	49,996	0.9979 49,891	0.9978 49,886	0.48

## 種類別投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	98.38
投資信託受益証券	0.48
合計	98.86

## (参考)インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド

国/ 地域	種類	銘柄名	数量 (口数)	帳簿価額単価 帳簿価額金額 (円)	評価額単価 評価額金額 (円)	投資 比率 (%)
アイルラ ンド	投資信託 受益証券	インベスコ・ス ターリング・ボン ド・ファンド	1,064,936.24	1,522.21 1,621,063,834	1,520.14 1,618,862,389	99.04

## 種類別投資比率

種 類	投資比率(%)
投資信託受益証券	99.04
合 計	99.04

## 【投資不動産物件】

該当事項はありません。

## 【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

## (3) 【運用実績】

## 【純資産の推移】

	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
第1 特定期間末(2016年4月15日)	33	33	1.0009	1.0029
第2 特定期間末(2016年10月17日)	10	10	0.8675	0.8695
第3 特定期間末(2017年4月17日)	12	12	0.9545	0.9565
第4 特定期間末(2017年10月16日)	10	11	1.0190	1.0210
第5 特定期間末(2018年4月16日)	10	10	0.9814	0.9834
2017年5月末日	13	-	0.9836	-
2017年6月末日	13	-	1.0000	-
2017年7月末日	11	-	1.0008	-
2017年8月末日	10	-	1.0052	-
2017年9月末日	11	-	1.0391	-
2017年10月末日	10	-	1.0112	-
2017年11月末日	10	-	1.0153	-
2017年12月末日	11	-	1.0239	-
2018年1月末日	11	-	1.0246	-
2018年2月末日	11	-	0.9837	-
2018年3月末日	10	-	0.9668	-
2018年4月末日	10	-	0.9747	-
2018年5月末日	10	-	0.9453	-

## 【分配の推移】

	1口当たりの分配金(円)
第1特定期間 (2016年1月29日～2016年4月15日)	0.0020
第2特定期間 (2016年4月16日～2016年10月17日)	0.0120
第3特定期間 (2016年10月18日～2017年4月17日)	0.0120
第4特定期間 (2017年4月18日～2017年10月16日)	0.0120
第5特定期間 (2017年10月17日～2018年4月16日)	0.0120

## 【収益率の推移】

	収益率(%)
第1特定期間	0.29
第2特定期間	12.13
第3特定期間	11.41
第4特定期間	8.01
第5特定期間	2.51

(注1)収益率は、各特定期間末の基準価額(分配落の額)から前特定期間末の基準価額(分配落の額。以下「前特定期末基準価額」といいます。)を控除した額に特定期間中の分配金累計額を加算し、前特定期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。

(注2)第1特定期間については、前特定期末基準価額の代わりに当初設定元本(1口当たり1円)を使用しております。

## (4)【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)
第1特定期間	33,351,691	-
第2特定期間	5,738,101	27,229,024
第3特定期間	3,527,958	2,263,069
第4特定期間	1,629,060	3,977,784
第5特定期間	1,212,913	1,164,031

(注1)設定数量には当初設定数量を含みます。

(注2)本邦外における設定、解約の実績はありません。

(参考情報) 交付目論見書に記載する運用実績

**基準価額・純資産の推移**

(2018年4月27日現在)

**■基準価額・純資産総額の推移(設定来)**

\* 基準価額、分配金再投資基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後のものです。  
\* 分配金再投資基準価額は、課税前分配金を再投資したと仮定した数値を用いています。

基準価額	9,747円
純資産総額	11百万円

**■期間騰落率**

期間	ファンド
1カ月	1.0%
3カ月	-4.3%
6カ月	-2.4%
1年	2.8%
3年	-
5年	-
設定来	2.6%

\* 期間騰落率は、分配金再投資基準価額の騰落率です。

**分配の推移**

(課税前/1万口当たり)

決算期	2017年12月	2018年1月	2018年2月	2018年3月	2018年4月	直近1年間累計	設定来累計
分配金	20円	20円	20円	20円	20円	240円	500円

**主要な資産の状況****■資産配分**

	純資産比
インベスコ 英国債券建て債券 マザーファンド	99.6%
インベスコ マネーパブル・ファンド(適格機関投資家私募投信)	0.5%
キャッシュ等	-0.0%

**(参考)投資先ファンドのポートフォリオの状況**

【マザーファンドが投資対象とする「インベスコ・スターリング・債券・ファンド」の運用状況(現地月末基準)を記載しています。】

**■ポートフォリオ特性**

平均最終利回り	3.3%
修正デュレーション	3.8年
平均格付	BBB-
銘柄数	177

\* 各特性値は、加重平均しています。

**■組入上位5カ国**

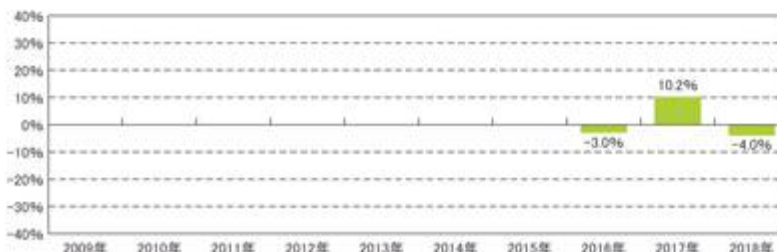
	国名	純資産比
1	イギリス	62.1%
2	アメリカ	9.6%
3	フランス	3.7%
4	ドイツ	3.6%
5	オランダ	2.7%
	合計	81.6%

**■組入上位10発行体**

	発行体名	純資産比
1	パークレイズ・バンク	5.5%
2	ロイズ・バンク	4.3%
3	ボーダフォン・グループ	3.3%
4	サンタンデル銀行	3.1%
5	ナショナル・ウエストミンスター・バンク	3.1%
6	テスコ	3.1%
7	欧州投資銀行	2.8%
8	AT&T	2.3%
9	モリソン・スーパーマーケット	1.9%
10	ジョン・ルイス	1.8%
	合計	31.0%

\* 国名は、発行体の国籍(所在国)等で区分しています。

\* 平均格付は、基準日時点で投資信託財産が保有している各有価証券の信用格付の加重平均であり、当ファンド自体の信用格付ではありません。信用格付は、原則としてS&P社の信用格付を使用しています。

**年間収益率の推移**

\* ファンドにはベンチマークはありません。

\* ファンドの年間収益率は、分配金再投資基準価額を基に算出しています。

\* 2016年はファンドの設定日(2016年1月29日)から年末まで、2018年は4月末までの騰落率を表示しています。

・運用実績は、過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

・最新の運用状況は、委託会社のホームページでご覧いただけます。

## 第2【管理及び運営】

## 1【申込（販売）手続等】

購入方法	販売会社において、販売会社所定の方法でお申し込みください。 「分配金再投資コース」をお申し込みいただく投資者は、積立投資契約（別の名称で同様の権利義務を規定する契約を含みません。）をお申し込みの販売会社との間で結んでいただきます。 なお、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。
購入申込不可日	（2018年10月4日まで） ロンドンまたはアイルランドのいずれかの銀行休業日に該当する日には、購入のお申し込みの受け付けを行いません。 （2018年10月5日以降） ロンドンまたはルクセンブルグのいずれかの銀行休業日に該当する日には、購入のお申し込みの受け付けを行いません。
購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 * 分配金の受け取り方法により、分配金が税引後無手数料で再投資される「分配金再投資コース」と、分配金を受け取る「分配金受取りコース」の2コースがあります。 * 「分配金再投資コース」において分配金を再投資する場合は、1口単位とします。
購入申込締切時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則として毎営業日の午後3時までに購入のお申し込みが行われ、かつ販売会社所定の事務手続きが完了したものを、当日の申込受付分とします。</li> <li>当日の受付終了後のお申し込みは、翌営業日の申込受付分として取り扱います。</li> <li>取引所などにおける取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、委託会社の判断により、受益権の購入申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入申し込みの受け付けを取り消すことがあります。</li> </ul>
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 ただし、「分配金再投資コース」において分配金を再投資する場合の購入価額は、ファンドの各計算期間終了日の基準価額とします。
購入時手数料	購入口数、購入金額または購入代金などに応じて、購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める3.24%（税抜き3.00%）以内の手数料率を乗じて得た額とします。 詳しくは、お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
購入代金の支払い	販売会社が定める期日までにお支払いください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「分配金再投資コース」 販売会社が定める購入単位に従った投資者ご指定の金額を、購入代金としてお申し込みの販売会社にお支払いいただきます。 なお、購入時手数料は購入代金から差し引かれます。</li> <li>「分配金受取りコース」 購入金額に購入時手数料を加算した金額を、購入代金としてお申し込みの販売会社にお支払いいただきます。</li> </ul>



購入の申し込みにかかる受益権の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・購入のお申し込みを行う投資者は、販売会社に、購入申し込みと同時にまたはあらかじめ、自己のために開設されたファンドの受益権の振り替えを行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行われます。</li> <li>・販売会社は、当該購入申し込みの代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該購入申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行うことができます。</li> <li>・委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）に定める事項の振替機関への通知を行うものとし、振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定に従い、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。</li> <li>・受託会社は、追加信託により生じた受益権については、追加信託の都度、振替機関の定める方法により振替機関へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行います。</li> </ul>
---------------------	--

## 2【換金（解約）手続等】

換金方法	販売会社において、販売会社所定の方法でお申し込みください。
換金申込不可日	<p>（2018年10月4日まで）          ロンドンまたはアイルランドのいずれかの銀行休業日に該当する日には、換金のお申し込みの受け付けを行いません。</p> <p>（2018年10月5日以降）          ロンドンまたはルクセンブルグのいずれかの銀行休業日に該当する日には、換金のお申し込みの受け付けを行いません。</p>
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金申込締切時間	<p>原則として、毎営業日の午後3時までに換金のお申し込みが行われ、かつ販売会社所定の事務手続きが完了したものを、当日の申込受付分とします。</p> <p>当日の受付終了後のお申し込みは、翌営業日の申込受付分として取り扱います。</p>
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
換金代金の支払い	原則として、換金の申込受付日から起算して6営業日目から、販売会社でお支払いいたします。

換金の申し込み受け付けの中止等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。</li> <li>・取引所などにおける取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、委託会社の判断により、換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。</li> <li>・換金のお申し込みの受け付けが中止された場合には、受益者は当該受け付け中止以前に行った当日の換金のお申し込みを撤回できます。ただし、受益者がその換金のお申し込みを撤回しない場合には、当該受益権の換金価額は、当該受け付け中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に換金のお申し込みを受け付けたものとして、上記「換金価額」に準じて計算された価額とします。</li> </ul>
換金にかかる受益権の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換金のお申し込みを行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の換金のお申し込みにかかるファンドの信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引き換えに、当該一部解約にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定に従い当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。</li> <li>・受益者が換金のお申し込みを行うときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行うものとします。</li> </ul>
償還金の支払い	<p>原則として、信託終了日から起算して5営業日目までに、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者 に対し、販売会社でお支払いを開始いたします。</p> <p>償還日以前において、一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で、購入代金支払い前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については、原則として、購入申込者とします。</p>

< 照会先 >

上記、購入価額および換金価額に関する詳細は、以下の照会先へお問い合わせください。  
照会先

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせダイヤル 03-6447-3100

受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

## 3【資産管理等の概要】

## (1)【資産の評価】

<p>基準価額の算定</p>	<p>基準価額とは、ファンドの投資信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価評価して得た投資信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権口数で除した金額をいいます。</p> <p>基準価額の算定にあたり、投資信託財産に属する外貨建資産の円換算は、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。</p> <p>また、予約為替の評価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算します。</p> <div style="text-align: center;"> <p><b>基準価額の計算方法</b></p> <p>ファンドの純資産総額 = ファンドの資産総額 - ファンドの負債総額          ファンドの基準価額 = ファンドの純資産総額 ÷ ファンドの受益権口数</p> </div>						
<p>基準価額の算出頻度と公表</p>	<p>基準価額は委託会社の営業日に日々算出され、原則として、計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に「英ポンドアク」の銘柄名で掲載されるほか、以下に照会することにより知ることができます。</p> <p>なお、基準価額は便宜上1万口あたりに換算した価額で表示されることがあります。</p> <p style="text-align: center;">基準価額の照会先</p> <div style="text-align: center; background-color: #cccccc; padding: 10px; border: 1px solid black;"> <p>インベスコ・アセット・マネジメント株式会社</p> <hr/> <p>お問い合わせダイヤル 03-6447-3100</p> <p>受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで</p> <p>ホームページ <a href="http://www.invesco.co.jp/">http://www.invesco.co.jp/</a></p> </div>						
<p>主な投資資産の評価方法</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">投資資産</th> <th style="width: 50%;">評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>親投資信託 受益証券</td> <td>親投資信託受益証券の基準価額で評価します。</td> </tr> <tr> <td>投資信託証券</td> <td>投資信託証券の基準価額で評価します。</td> </tr> </tbody> </table>	投資資産	評価方法	親投資信託 受益証券	親投資信託受益証券の基準価額で評価します。	投資信託証券	投資信託証券の基準価額で評価します。
投資資産	評価方法						
親投資信託 受益証券	親投資信託受益証券の基準価額で評価します。						
投資信託証券	投資信託証券の基準価額で評価します。						

## (2) 【保管】

受益証券の保管	原則として受益証券は発行されないため、受益証券の保管に関する事項はありません。 * ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります。
---------	---

## (3) 【信託期間】

ファンドの信託期間	2016年1月29日から2025年4月15日までとします。 なお、信託契約の一部解約により、受益権の総口数が30億口を下回る事となった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。
-----------	--

## (4) 【計算期間】

ファンドの計算期間	ファンドの計算期間は、原則として毎月16日から翌月15日までとします。 なお、各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。
-----------	--

## (5) 【その他】

繰上償還	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託会社は、信託契約の一部解約により、受益権の総口数が30億口を下回る事となった場合、信託期間中においてファンドの信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、ファンドの信託契約を解約し、信託を終了させることができます。</li> <li>委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。</li> <li>信託契約の解約は、以下の手続きで行います。</li> </ul> <div data-bbox="496 1285 1380 1706" data-label="Diagram"> <p style="text-align: center;"><b>書面決議による繰上償還の流れ</b></p> <pre> graph LR     A[書面決議の日の2週間前までに、知れている受益者に対し、書面決議の通知等の書面を送付] --&gt; B[書面決議]     B -- "議決権を行使できる受益者の議決権の3分の2以上で成立した場合" --&gt; C(繰上償還実施)     B -- "否決された場合" --&gt; D[繰上償還不成立]   </pre> <p>* 知れている受益者が議決権を行使しないときは、書面決議について賛成するものとみなします。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 上記の手続きは、委託会社が信託契約の解約について提案をした場合において、ファンドの信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。</li> <li>* 上記の手続きは、投資信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、上記の手続きを行うことが困難な場合には適用しません。</li> <li>* 委託会社は、監督官庁よりファンドの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令に従い、信託契約を解約し信託を終了させます。</li> </ul>
------	---

信託約款の変更等	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは受託会社と合意のうえ、ファンドの信託約款を変更することまたはファンドと他のファンドとの併合を行うことができます。 投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じです。</li> <li>委託会社は、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。なお、ファンドの信託約款は当「信託約款の変更等」に定める以外の方法によって変更することができないものとします。</li> <li>その内容が重大なものおよび併合（以下「重大な信託約款の変更等」といいます。）は、以下の手続きで行います。</li> </ul> <div data-bbox="501 555 1391 996" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>重大な信託約款の変更等の流れ</b></p> <p style="font-size: small;">* 知っている受益者が議決権を行使しないときは、書面決議について賛成するものとみなします。 * 書面決議の効力は、ファンドのすべての受益者に対してその効力を生じます。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 上記の手続きは、委託会社が重大な信託約款の変更等について提案をした場合において、ファンドの信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。</li> <li>* ファンドにおいて併合の書面決議が可決された場合にあっても、当該併合にかかる一または複数の他のファンドにおいて当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他のファンドとの併合を行うことはできません。</li> <li>* 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてファンドの信託約款を変更しようとするときは、上記の手続きに従います。</li> </ul>
反対受益者の受益権買取請求の不適用	<p>当ファンドは、前記「繰上償還」に規定する信託契約の解約、または「信託約款の変更等」に規定する重大な信託約款の変更等を行う場合、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権の買取請求の規定の適用を受けません。</p>
関係会社との契約の更新等に関する手続きについて	<p>委託会社と販売会社との間で締結される「受益権の募集・販売等に関する契約」は、期間満了前に、委託会社、販売会社いずれからも別段の意思表示のないときは、自動的に1年間延長されます。自動延長後の取り扱いも同様です。</p>
運用報告書	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託会社は、年2回（4月と10月の決算時）および償還時に交付運用報告書（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第4項に定める運用報告書）を作成し、販売会社を通じて、知っている受益者に対して交付します。</li> <li>委託会社は、運用報告書（全体版）（投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書）を作成し、委託会社のホームページに掲載します。</li> <li>上記にかかわらず、受益者から運用報告書（全体版）の交付の請求があった場合には、これを交付します。</li> </ul>
公告	<p>受益者に対する公告は、日本経済新聞に掲載します。</p>

## 4【受益者の権利等】

分配金に対する請求権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者は、委託会社の決定した分配金を、持ち分に応じて請求する権利を有します。</li> <li>・分配金は、毎計算期間終了日後1カ月以内の委託会社の指定する日から、毎計算期間の末日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者に支払います。</li> <li>・「分配金再投資コース」に基づいて分配金を再投資する受益者に対しては、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に、分配金が販売会社に交付されます。販売会社は、受益者に対し遅滞なく分配金の再投資にかかる受益権の取得申し込みに応じます。</li> <li>・受益者が、分配金の支払開始日から5年間支払いを請求しないときはその権利を失い、その金額は、委託会社に帰属するものとします。</li> </ul>
償還金に対する請求権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者は、持ち分に応じて償還金を請求する権利を有します。</li> <li>・償還金は、信託終了日後1カ月以内の委託会社の指定する日から、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者に支払います。</li> <li>・受益者が、償還金の支払開始日から10年間支払いを請求しないときはその権利を失い、その金額は、委託会社に帰属するものとします。</li> </ul>
受益権の換金（解約）請求権	受益者は、受益権の換金（解約）を請求することができます。
受益権均等分割	受益者は、自己に帰属する受益権の口数に応じて、均等にファンドの受益権を保有します。
帳簿閲覧権	受益者は、委託会社に対し、その営業時間内にファンドの投資信託財産に関する帳簿書類の閲覧・謄写を請求することができます。

### 第3【ファンドの経理状況】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 当ファンドの計算期間は6カ月未満であるため、財務諸表は6カ月毎に作成しております。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間(平成29年10月17日から平成30年4月16日まで)の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による監査を受けております。

## 1【財務諸表】

インベスコ 英国債券建て債券ファンド&lt;為替アクティブヘッジ&gt;（毎月決算型）

## (1)【貸借対照表】

（単位：円）

	前期 (平成29年10月16日現在)	当期 (平成30年4月16日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
投資信託受益証券	49,916	49,896
親投資信託受益証券	11,014,114	10,595,969
派生商品評価勘定	7,464	425,373
流動資産合計	11,071,494	11,071,238
資産合計		
	11,071,494	11,071,238
<b>負債の部</b>		
流動負債		
派生商品評価勘定	56,737	413,661
未払収益分配金	21,553	21,651
未払受託者報酬	306	292
未払委託者報酬	10,086	9,879
その他未払費用	990	969
流動負債合計	89,672	446,452
負債合計		
	89,672	446,452
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	10,776,933	10,825,815
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	204,889	201,029
（分配準備積立金）	403,443	390,027
元本等合計	10,981,822	10,624,786
純資産合計		
	10,981,822	10,624,786
負債純資産合計		
	11,071,494	11,071,238



## (2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前期	当期
	自 平成29年 4月18日 至 平成29年10月16日	自 平成29年10月17日 至 平成30年 4月16日
<b>営業収益</b>		
有価証券売買等損益	1,337,043	306,124
為替差損益	296,745	552,368
営業収益合計	1,040,298	246,244
<b>営業費用</b>		
支払利息	10	-
受託者報酬	1,966	1,764
委託者報酬	65,865	59,061
その他費用	6,474	5,786
営業費用合計	74,315	66,611
営業利益又は営業損失( )	965,983	312,855
経常利益又は経常損失( )	965,983	312,855
当期純利益又は当期純損失( )	965,983	312,855
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額( )	38,720	16,359
期首剰余金又は期首欠損金( )	597,849	204,889
剰余金増加額又は欠損金減少額	39,422	31,674
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	34,950	14,374
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	4,472	17,300
剰余金減少額又は欠損金増加額	17,786	9,346
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	2,614	5,602
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	15,172	3,744
分配金	146,161	131,750
期末剰余金又は期末欠損金( )	204,889	201,029

## (3)【注記表】

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	(1)投資信託受益証券 移動平均法に基づき、投資信託受益証券の基準価額で評価しております。  (2)親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 為替予約の評価は、原則として、当ファンドの特定期間末日におけるわが国の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	特定期間末日の取扱い 平成29年10月15日及び平成30年4月15日が休日のため、信託約款第32条第2項により、当特定期間開始日を平成29年10月17日、当特定期間末日を平成30年4月16日としております。このため、当特定期間は182日となっております。

## (貸借対照表に関する注記)

前期 (平成29年10月16日現在)		当期 (平成30年4月16日現在)	
1. 期首元本額	13,125,657円	1. 期首元本額	10,776,933円
期中追加設定元本額	1,629,060円	期中追加設定元本額	1,212,913円
期中解約元本額	3,977,784円	期中解約元本額	1,164,031円
2. 特定期間末日における受益権の総数	10,776,933口	2. 特定期間末日における受益権の総数	10,825,815口
3. 元本の欠損	_____	3. 元本の欠損 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は201,029円であります。	

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

<p style="text-align: center;">前期 自 平成29年 4月18日 至 平成29年10月16日</p>	<p style="text-align: center;">当期 自 平成29年10月17日 至 平成30年 4月16日</p>
<p>分配金の計算過程 (平成29年 4月18日から平成29年 5月15日までの計算期間) 計算期間末における配当等収益から費用を控除した額(0円)、有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(42,581円)、信託約款に規定される収益調整金(70,063円)及び分配準備積立金(116,567円)より分配対象収益は229,211円(1万口当たり174.14円)であり、うち26,324円(1万口当たり20円)を分配金額としております。 なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。</p>	<p>分配金の計算過程 (平成29年10月17日から平成29年11月15日までの計算期間) 計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(83,734円)及び分配準備積立金(392,427円)より分配対象収益は476,161円(1万口当たり453.25円)であり、うち21,010円(1万口当たり20円)を分配金額としております。 なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。</p>
<p>(平成29年 5月16日から平成29年 6月15日までの計算期間) 計算期間末における配当等収益から費用を控除した額(103,363円)、有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(82,206円)及び分配準備積立金(132,824円)より分配対象収益は318,393円(1万口当たり229.21円)であり、うち27,778円(1万口当たり20円)を分配金額としております。 なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。</p>	<p>(平成29年11月16日から平成29年12月15日までの計算期間) 計算期間末における配当等収益から費用を控除した額(78,012円)、有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(20,016円)、信託約款に規定される収益調整金(109,247円)及び分配準備積立金(371,417円)より分配対象収益は578,692円(1万口当たり525.66円)であり、うち22,016円(1万口当たり20円)を分配金額としております。 なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。</p>
<p>(平成29年 6月16日から平成29年 7月18日までの計算期間) 計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(117,232円)、信託約款に規定される収益調整金(75,776円)及び分配準備積立金(191,130円)より分配対象収益は384,138円(1万口当たり301.12円)であり、うち25,512円(1万口当たり20円)を分配金額としております。 なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。</p>	<p>(平成29年12月16日から平成30年 1月15日までの計算期間) 計算期間末における配当等収益から費用を控除した額(0円)、有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(116,756円)及び分配準備積立金(447,429円)より分配対象収益は564,185円(1万口当たり505.66円)であり、うち22,313円(1万口当たり20円)を分配金額としております。 なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。</p>

(平成29年7月19日から平成29年8月15日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(77,398円)及び分配準備積立金(255,429円)より分配対象収益は332,827円(1万口当たり281.12円)であり、うち23,676円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。

(平成29年8月16日から平成29年9月15日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(85,871円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(115,181円)、信託約款に規定される収益調整金(79,246円)及び分配準備積立金(201,179円)より分配対象収益は481,477円(1万口当たり451.68円)であり、うち21,318円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。

(平成29年9月16日から平成29年10月16日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(44,795円)、信託約款に規定される収益調整金(85,039円)及び分配準備積立金(380,201円)より分配対象収益は510,035円(1万口当たり473.24円)であり、うち21,553円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。

(平成30年1月16日から平成30年2月15日までの計算期間)

計算期間末における配当等収益から費用を控除した額(0円)、有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(136,830円)及び分配準備積立金(425,116円)より分配対象収益は561,946円(1万口当たり485.65円)であり、うち23,140円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。

(平成30年2月16日から平成30年3月15日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(61,559円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(130,020円)及び分配準備積立金(373,547円)より分配対象収益は565,126円(1万口当たり522.74円)であり、うち21,620円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。

(平成30年3月16日から平成30年4月16日までの計算期間)

計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(132,600円)及び分配準備積立金(411,678円)より分配対象収益は544,278円(1万口当たり502.75円)であり、うち21,651円(1万口当たり20円)を分配金額としております。

なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

1. 金融商品に対する取組方針	証券投資信託として、有価証券等の金融商品に対する投資を、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い行っております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>当ファンドは、投資信託受益証券及び親投資信託受益証券を主要投資対象としております。投資する投資信託受益証券は、インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）、親投資信託受益証券は、インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンドです。</p> <p>また、当ファンドは、為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動により価値の変動が生ずることもありますが、取引の利用目的を為替ヘッジ目的、円貨確定目的に限定しているため当ファンドに対して重大な影響をおよぼすものではありません。また、当ファンドが利用している為替予約取引の相手方は社内ルールに従った金融機関に限定しているため、相手方の契約不履行に係る信用リスクはほとんどないと認識しております。</p> <p>投資信託受益証券は、公社債にかかるリスク等にさらされております。</p> <p>親投資信託受益証券は、公社債にかかるリスク、デフォルト・リスク、デリバティブ（金融派生商品）に関するリスク、カントリー・リスク、流動性リスク、為替変動リスク等にさらされております。</p> <p>また、親投資信託受益証券は、為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、外国通貨の取得又は売却取引について円貨額を確定することに限定しているため、親投資信託受益証券に対して重大な影響をおよぼすものではありません。また、親投資信託受益証券が利用している為替予約取引の相手方は社内ルールに従った金融機関に限定しているため、相手方の契約不履行に係る信用リスクはほとんどないと認識しております。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>取締役会で定めたりスク管理の基本方針、及びリスク管理規程に従い、包括的なリスク管理を「リスク管理委員会」（以下「RMC」といいます。）で行います。RMCは、社内各部署から報告された各種リスクを検討、協議し、具体的なリスク管理方針を策定します。</p> <p>RMCでは、分会として「運用リスク管理委員会」（以下「IRMC」といいます。）を開催し、運用リスクの管理を行います。IRMCは、運用リスクを把握し、運用の適切性・妥当性を検証、審議して、その結果をRMCへ報告します。</p>

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	前期 (平成29年10月16日現在)	当期 (平成30年4月16日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。	(1)有価証券 同左

3. 金融商品の時価等に関する事項の補足事項	(2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」に記載しております。	(2)デリバティブ取引 同左
	(3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品については、短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(3)上記以外の金融商品 同左
	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

種 類	前期 (平成29年10月16日現在)	当期 (平成30年4月16日現在)
	当特定期間の損益に 含まれた評価差額(円)	当特定期間の損益に 含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	5	-
親投資信託受益証券	102,348	325,603
合 計	102,343	325,603

## (デリバティブ取引等に関する注記)

## 取引の時価等に関する事項

## 通貨関連

前期(平成29年10月16日現在)

種 類	契約額等(円)	うち 1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引以外の取引 為替予約取引				
買 建 イギリスポンド	10,232,700	-	10,240,164	7,464
売 建 イギリスポンド	10,183,427	-	10,240,164	56,737
合 計	20,416,127	-	20,480,328	49,273

当期(平成30年4月16日現在)

種 類	契約額等(円)	うち 1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引以外の取引 為替予約取引				
買 建 イギリスポンド	19,767,298	-	20,192,671	425,373
売 建 イギリスポンド	19,779,010	-	20,192,671	413,661
合 計	39,546,308	-	40,385,342	11,712

## (注)時価の算定方法

## 為替予約の時価

(1)当特定期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価しております。

同特定期間末日において為替予約の受渡日(以下「当該日」という。)の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該対顧客先物相場の仲値により評価しております。

同特定期間末日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は以下の方法によっております。

イ)同特定期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しております。

ロ)同特定期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値により評価しております。

(2)同特定期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、同特定期間末日の対顧客電信売買相場の仲値により評価しております。

## (関連当事者との取引に関する注記)

前 期	当 期
自 平成29年4月18日	自 平成29年10月17日
至 平成29年10月16日	至 平成30年4月16日

該当事項はありません。	同左
-------------	----

## (1口当たり情報に関する注記)

前期 (平成29年10月16日現在)	当期 (平成30年4月16日現在)
1口当たり純資産額 1,0190円 (1万口当たり純資産額 10,190円)	1口当たり純資産額 0.9814円 (1万口当たり純資産額 9,814円)

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

株式

該当事項はありません。

株式以外の有価証券

## (投資信託受益証券)

(平成30年4月16日現在)

種類	銘柄	口数	評価額(円)	備考
投資信託 受益証券	インベスコ マネープール・ ファンド(適格機関投資家私募 投信)	49,996	49,896	
	合計	49,996	49,896	

## (親投資信託受益証券)

(平成30年4月16日現在)

種類	銘柄	券面総額	評価額(円)	備考
親投資信託 受益証券	インベスコ 英国ポンド建て債 券 マザーファンド	11,432,854	10,595,969	
	合計	11,432,854	10,595,969	

(注)親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引等に関する注記)」に記載しております。

## 参考情報

当ファンドは、「インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド」受益証券及び「インベスコ マネープール・ファンド(適格機関投資家私募投信)」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、「インベスコ マネープール・ファ



ンド(適格機関投資家私募投信)」、「親投資信託受益証券」は、すべて「インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド」の受益証券です。同ファンドの状況は次の通りです。

「インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査対象外であります。

#### 貸借対照表

(単位：円)

区 分	注記 番号	(平成29年10月16日現在)	(平成30年4月16日現在)
		金 額	金 額
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		42,012,192	29,125,352
投資信託受益証券		1,879,088,411	1,738,909,198
未収入金		49,176,600	-
流動資産合計		1,970,277,203	1,768,034,550
資産合計		1,970,277,203	1,768,034,550
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		44,946	-
未払解約金		7,980,617	2
未払利息		115	79
その他未払費用		352	156
流動負債合計		8,026,030	237
負債合計		8,026,030	237
純資産の部			
元本等			
元本		2,183,702,169	1,907,750,462
剰余金			
剰余金又は欠損金( )		221,450,996	139,716,149
元本等合計		1,962,251,173	1,768,034,313
純資産合計		1,962,251,173	1,768,034,313
負債純資産合計		1,970,277,203	1,768,034,550

#### 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、投資信託受益証券の基準価額、外国金融商品市場(金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第2条第8項第3号口に規定するものをいいます。)における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、又は金融商品取引業者から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p>
--------------------	---

2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 為替予約の評価は、原則として、わが国における対顧客先物売買取相場の仲値によって計算しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

## (貸借対照表に関する注記)

(平成29年10月16日現在)	
1. 本書における開示対象ファンドの期首における 当該親投資信託の元本額	2,337,715,918円
同期中における追加設定元本額	453,587,761円
同期中における解約元本額	607,601,510円
同特定期間末日における元本の内訳	
(保有ファンド名)	(金額)
インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	2,108,778,825円
インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	62,666,373円
インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド<為替アクティブヘッ ジ>(毎月決算型)	12,256,971円
合計	2,183,702,169円
2. 本書における開示対象ファンドの特定期間末日における 当該親投資信託の受益権の総数	2,183,702,169口
3. 元本の欠損 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は221,450,996円でありま す。	

(平成30年4月16日現在)	
1. 本書における開示対象ファンドの期首における 当該親投資信託の元本額	2,183,702,169円
同期中における追加設定元本額	266,447,954円
同期中における解約元本額	542,399,661円
同特定期間末日における元本の内訳	
(保有ファンド名)	(金額)
インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	1,841,519,297円
インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	54,798,311円
インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド<為替アクティブヘッ ジ>(毎月決算型)	11,432,854円
合計	1,907,750,462円
2. 本書における開示対象ファンドの特定期間末日における 当該親投資信託の受益権の総数	1,907,750,462口
3. 元本の欠損 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は139,716,149円でありま す。	

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

1. 金融商品に対する取組方針	証券投資信託として、有価証券等の金融商品に対する投資を、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い行っております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	<p>当ファンドが保有する金融資産は、主として投資信託受益証券であります。投資する主な投資信託受益証券は、インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券（英国ポンド建て）です。</p> <p>また、当ファンドは、為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、外国通貨の取得又は売却取引について円貨額を確定することに限定しているため、当ファンドに対して重大な影響をおよぼすものではありません。また、当ファンドが利用している為替予約取引の相手方は社内ルールに従った金融機関に限定しているため、相手方の契約不履行に係る信用リスクはほとんどないと認識しております。</p> <p>投資信託受益証券は、公社債にかかるリスク、デフォルト・リスク、デリバティブ（金融派生商品）に関するリスク、カントリー・リスク、流動性リスク、為替変動リスク等にさらされております。</p>
3. 金融商品に係るリスク管理体制	当ファンドに投資する証券投資信託の「(金融商品に関する注記)」に記載しております。

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	(平成29年10月16日現在)	(平成30年4月16日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	貸借対照表計上額は本書における開示対象ファンドの特定期間末日の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」に記載しております。</p> <p>(3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品については、短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。</p>	<p>(1)有価証券 同左</p> <p>(2)デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3)上記以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足事項	当ファンドに投資する証券投資信託の「(金融商品に関する注記)」に記載しております。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種 類	(平成29年10月16日現在)	(平成30年4月16日現在)
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	10,926,982	19,666,324
合 計	10,926,982	19,666,324

(注)当計算期間の損益に含まれた評価差額は、当親投資信託の期首日から本書における開示対象ファンドの特定期間末日までの期間に対応する金額であります。

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

通貨関連

(平成29年10月16日現在)

種 類	契約額等(円)	うち 1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引以外の取引 為替予約取引 売 建 イギリスポンド	49,128,354	-	49,173,300	44,946
合 計	49,128,354	-	49,173,300	44,946

(注)時価の算定方法

為替予約の時価

(1)本書における開示対象ファンドの特定期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価しております。

同特定期間末日において為替予約の受渡日(以下「当該日」という。)の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該対顧客先物相場の仲値により評価しております。

同特定期間末日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は以下の方法によっております。

イ)同特定期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しております。

ロ)同特定期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値により評価しております。

(2)同特定期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、同特定期間末日の対顧客電信売買相場の仲値により評価しております。

(平成30年4月16日現在)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

自 平成29年4月18日 至 平成29年10月16日	自 平成29年10月17日 至 平成30年4月16日
該当事項はありません。	同左

(1口当たり情報に関する注記)

(平成29年10月16日現在)	(平成30年4月16日現在)
1口当たり純資産額 0.8986円 (1万口当たり純資産額 8,986円)	1口当たり純資産額 0.9268円 (1万口当たり純資産額 9,268円)

## 附属明細表

### 第1 有価証券明細表

株式

該当事項はありません。

株式以外の有価証券(投資信託受益証券)

(平成30年4月16日現在)

種類	通貨	銘柄	口数	評価額		備考
				単価	金額	
投資信託 受益証券	イギリス ポンド	インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド クラスC-QD投資信託証券(英国ポンド建て)	1,077,273	10.53	11,344,658.13	
		イギリスポンド小計	1,077,273		11,344,658.13 (1,738,909,198)	
	合計				1,738,909,198 (1,738,909,198)	

(注)1.小計欄の( )内は、邦貨換算額であります。

2.合計金額欄の( )内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書きであります。

3.通貨の表示は、邦貨については円単位、外貨についてはその通貨の表記単位で表示しております。

4.外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入投資信託受益証券時価比率	合計金額に対する比率
イギリスポンド	投資信託受益証券 1銘柄	100.00%	100.00%

### 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

### 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンドは、「インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、同ファンドの受益証券です。

なお、以下に記載した情報は当ファンドの監査の対象外であります。

## 「インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド」受益証券の状況

「インベスコ・スターリング・ボンド・ファンド」受益証券は、アイルランド籍外国投資信託が発行するクラスC-QD投資信託証券（英国ポンド建て）です。同投資信託は、現地の法律に基づいて財務諸表が作成され、公認会計士により財務書類の監査を受けております。

以下に掲載している2017年11月30日現在の貸借対照表、損益計算書及び投資有価証券明細表は、現地FINANCIAL STATEMENTSから抜粋しております。

## (1)貸借対照表

（2017年11月30日現在）  
（単位：英ポンド）

<b>資産</b>	
現金及び現金等価物	47,116,654
差入委託証拠金	2,157,122
発行未収金	1,420,858
損益を通じて公正価値で測定する金融資産	681,415,730
その他の未収収益及び前払費用	12
<b>資産合計</b>	<b>732,110,376</b>
<b>負債</b>	
当座借越	(375,098)
ブローカーに対する債務	(5,019,235)
買戻未払金	(395,868)
損益を通じて公正価値で測定する金融負債	(404,467)
未払分配金	(3,576,752)
未払管理報酬	(306,486)
未払管理事務代行報酬	(136,511)
未払費用	(72,233)
<b>負債合計（買戻可能受益証券保有者に帰属する純資産を除く）</b>	<b>(10,286,650)</b>
<b>買戻可能受益証券保有者に帰属する純資産</b>	<b>721,823,726</b>

## (2)損益計算書

（2017年11月30日に終了した年度）  
（単位：英ポンド）

<b>収益</b>	
受取利息（債券）	33,343,580
マーケットプレミアムの償却	(2,872,710)
受取配当金	147,188
受取利息	18,996
損益を通じて公正価値で測定する金融資産及び負債にかかる純利益（実現及び未実現）	15,403,113
その他収益	75
<b>投資収益合計</b>	<b>46,040,242</b>
<b>費用</b>	
管理報酬	(3,832,204)
管理事務代行報酬	(1,413,461)
預託手数料	(45,424)
保管サービス報酬	(36,614)
監査報酬	(12,477)
その他の運用報酬	(59,014)
スワップに係る純支払利息	(702,886)

運用費用合計	(6,102,080)
運用利益	39,938,162
財務費用	
買戻可能受益証券保有者への分配金	(15,447,371)
平準化純額	292,515
当座借越利息	(13,423)
財務費用合計	(15,168,279)
税引前利益	24,769,883
源泉税	-
買戻可能受益証券保有者に帰属する純資産の増加	24,769,883

## (3)投資有価証券明細表

(2017年11月30日現在)

銘柄	保有数	時価 (英ポンド)	純資産 比率(%)
<b>イギリス(57.57%)(2016年11月30日:64.01%)</b>			
Arqiva Financing Plc 4.882% GBP 31/12/2032	2,750,000	3,103,920	0.43
Aviva Plc FRN 6.125% GBP Perpetual*	3,930,000	4,517,142	0.63
Aviva Plc FRN 5.125% GBP 04/06/2050*	1,890,000	2,100,074	0.29
Barclays Bank Plc FRN 9.25% GBP Perpetual*	2,845,000	3,481,711	0.48
Barclays Bank Plc FRN 7.125% GBP Perpetual*	3,500,000	3,931,667	0.54
Barclays Bank Plc FRN 14% GBP Perpetual*	18,296,000	21,564,214	2.99
Barclays Bank Plc FRN 8.25% GBP Perpetual*	3,000,000	3,222,750	0.45
BAT International Finance Plc 1.75% GBP 05/07/2021	1,870,000	1,887,578	0.26
BAT International Finance Plc 6% GBP 29/06/2022	2,700,000	3,204,702	0.44
BAT International Finance Plc 2.25% GBP 09/09/2052	5,480,000	4,318,267	0.60
BG Energy Capital Plc 5.125% GBP 07/12/2017	5,000,000	5,001,600	0.69
BP Capital Markets Plc 2.75% USD 10/05/2023	7,000,000	5,233,099	0.72
BP Capital Markets Plc 1.177% GBP 12/08/2023	5,000,000	4,845,475	0.67
British Land Co Plc 5.357% GBP 31/03/2028	500,000	606,690	0.08
British Land Co Plc 2.375% GBP 14/09/2029	3,700,000	3,577,623	0.50
British Land Co Plc 5.264% GBP 24/09/2035	600,000	752,154	0.10
British Telecommunications Plc 5.75% GBP 07/12/2028	3,000,000	3,801,269	0.53
British Telecommunications Plc 9.125% USD 15/12/2030	2,000,000	2,218,718	0.31
British Telecommunications Plc 6.375% GBP 23/06/2037	1,560,000	2,212,774	0.31
BUPA Finance Plc 3.375% GBP 17/06/2021	1,250,000	1,328,937	0.18
BUPA Finance Plc 5% GBP 08/12/2026	2,360,000	2,700,159	0.37
Cadent Finance Plc 1.125% GBP 22/09/2021	3,180,000	3,139,773	0.43
Cadent Finance Plc 2.125% GBP 22/09/2028	1,800,000	1,721,079	0.24
Centrica Plc 7% GBP 19/09/2018	2,150,000	2,249,212	0.31
Centrica Plc 4% USD 16/10/2023 144A	9,500,000	7,287,718	1.01
Centrica Plc 6.4% GBP 04/09/2026	400,000	515,492	0.07
Centrica Plc FRN 5.25% GBP 10/04/2075*	4,000,000	4,225,834	0.59
Cheltenham & Gloucester Plc 11.75% GBP Perpetual	500,000	1,061,075	0.15
Co-operative Group Holdings 2011 Ltd 6.875% GBP 08/07/2020	4,500,000	4,972,770	0.69
Coventry Building Society 6% GBP 16/10/2019	3,000,000	3,268,653	0.45
Coventry Building Society 5.875% GBP 28/09/2022	1,500,000	1,784,654	0.25



Delamare Finance Plc 5.546% GBP 19/02/2029	925,770	1,042,193	0.14
Direct Line Insurance Group Plc FRN 9.25% GBP 27/04/2042*	2,000,000	2,606,426	0.36
Eastern Power Networks Plc 4.75% GBP 30/09/2021	2,000,000	2,246,324	0.31
EE Finance Plc 4.375% GBP 28/03/2019	6,000,000	6,251,796	0.87
EI Group Plc 6.5% GBP 06/12/2018	869,000	913,814	0.13
EI Group Plc 6.875% GBP 09/05/2025	1,000,000	1,125,100	0.16
esure Group Plc 6.75% GBP 19/12/2024	1,570,000	1,842,913	0.26
G4S Plc 7.75% GBP 13/05/2019	2,000,000	2,179,032	0.30
GlaxoSmithKline Capital Plc 3.375% GBP 20/12/2027	5,000,000	5,521,584	0.76
Great Portland Estates Plc 5.625% GBP 31/01/2029	450,000	559,467	0.08
Grosvenor UK Finance Plc 6.5% GBP 29/09/2026	500,000	657,045	0.09
Heathrow Funding Ltd 5.225% GBP 15/02/2023	3,150,000	3,671,677	0.51
Heathrow Funding Ltd 7.075% GBP 04/08/2028	900,000	1,264,863	0.17
Imperial Brands Finance Plc 9% GBP 17/02/2022	3,500,000	4,520,531	0.63
Imperial Brands Finance Plc 4.875% GBP 07/06/2032	800,000	952,589	0.13
InterContinental Hotels Group Plc 2.125% GBP 24/08/2026	1,850,000	1,760,340	0.24
John Lewis Plc 8.375% GBP 08/04/2019	2,000,000	2,182,820	0.30
John Lewis Plc 6.125% GBP 21/01/2025	6,800,000	8,160,782	1.13
John Lewis Plc 4.25% GBP 18/12/2034	2,250,000	2,366,118	0.33
Legal & General Group Plc FRN 5.375% GBP 27/10/2045*	3,260,000	3,668,318	0.51
Legal & General Group Plc FRN 5.875% GBP Perpetual*	3,000,000	3,153,875	0.44
Lloyds Bank Plc 9.625% GBP 06/04/2023	900,000	1,217,671	0.17
Lloyds Bank Plc FRN 13% GBP Perpetual*	10,550,000	19,847,187	2.75
Lloyds Bank Plc FRN 13% GBP Perpetual*	2,000,000	2,779,406	0.39
Lloyds Bank Plc FRN 12% USD Perpetual 144A*	3,440,000	3,460,492	0.48
Marks & Spencer Plc 4.75% GBP 12/06/2025	3,450,000	3,845,511	0.53
Marks & Spencer Plc 7.125% USD 01/12/2037 144A	4,500,000	3,940,672	0.55
National Westminster Bank Plc 6.5% GBP 07/09/2021	9,960,000	11,565,851	1.60
National Westminster Bank Plc FRN 7.125% GBP Perpetual*	2,053,000	2,341,693	0.32
Nationwide Building Society FRN 4.125% USD 18/10/2032 144A*	1,980,000	1,481,429	0.21
Nationwide Building Society FRN 7.859% GBP Perpetual*	2,200,000	2,684,220	0.37
Nationwide Building Society FRN 6.25% GBP Perpetual*	1,000,000	1,150,100	0.16
Nationwide Building Society FRN 6.875% GBP Perpetual*	450,000	470,200	0.07
Newcastle Building Society FRN 3.849% GBP 23/12/2019*	2,641,000	2,482,540	0.34
NGG Finance Plc FRN 5.625% GBP 18/06/2073*	5,000,000	5,675,000	0.79
Peel Land & Property Investments Plc 8.375% GBP 30/04/2040	2,937,071	4,312,031	0.60
Pennon Group Plc FRN 2.875% GBP Perpetual*	1,210,000	1,216,849	0.17
Pension Insurance Corp Plc 6.5% GBP 03/07/2024	2,000,000	2,261,460	0.31
Phoenix Life Ltd FRN 7.25% GBP Perpetual*	3,633,000	4,055,191	0.56
Prudential Plc FRN 11.375% GBP 29/05/2039*	3,052,000	3,494,381	0.48
Prudential Plc FRN 5% GBP 20/07/2055*	5,960,000	6,580,913	0.91
RAC Bond Co Plc 4.87% GBP 06/05/2026	4,000,000	4,378,302	0.61

RI Finance Bonds No 3 Plc 6.125% GBP 13/11/2028	1,800,000	2,115,891	0.29
RL Finance Bonds No. 2 Plc FRN 6.125% GBP 30/11/2043*	2,717,000	3,096,602	0.43
Rolls-Royce Plc 6.75% GBP 30/04/2019	2,000,000	2,159,705	0.30
Royal Bank of Scotland Group Plc FRN 3.655% USD Perpetual*	3,000,000	2,210,197	0.31
Royal Bank of Scotland Plc FRN 0.786% GBP 15/05/2020*	7,960,000	7,986,666	1.11
Royal Bank of Scotland Plc FRN 6.2% GBP Perpetual*	1,750,000	1,933,575	0.27
Royal Bank of Scotland Plc FRN 4.42% GBP Perpetual*	406,000	399,914	0.06
Royal Bank of Scotland Plc FRN 5.625% GBP Perpetual*	895,000	981,260	0.14
Safeway Ltd 6.125% GBP 17/12/2018	3,000,000	3,184,498	0.44
Santander UK Plc 5.125% GBP 14/04/2021	5,000,000	5,661,840	0.78
Santander UK Plc FRN 10.125% GBP 04/01/2023*	1,800,000	1,817,820	0.25
Santander UK Plc FRN 9.625% GBP 30/10/2023*	1,539,000	1,661,797	0.23
Santander UK Plc FRN 7.037% GBP Perpetual*	1,023,000	1,253,656	0.17
Santander UK Plc FRN 7.375% GBP Perpetual*	4,000,000	4,494,000	0.62
Santander UK Plc 10.063% GBP Perpetual	2,314,000	3,774,782	0.52
Scottish Widows Ltd 5.5% GBP 16/06/2023	1,500,000	1,698,312	0.24
Shaftesbury Carnaby Plc 2.487% GBP 30/09/2031	2,500,000	2,414,775	0.33
Shaftesbury Chinatown Plc 2.348% GBP 30/09/2027	2,560,000	2,495,194	0.35
Sky Plc 3.75% USD 16/09/2024 144A	3,000,000	2,302,800	0.32
Society of Lloyd 's FRN 4.875% GBP 07/02/2047*	1,310,000	1,444,603	0.20
Southern Gas Networks Plc 4.875% GBP 05/10/2023	3,000,000	3,493,827	0.48
Southern Gas Networks Plc 2.5% GBP 03/02/2025	2,240,000	2,300,032	0.32
SP Distribution Plc 5.875% GBP 17/07/2026	4,000,000	5,099,544	0.71
SSE Plc FRN 3.875% GBP Perpetual*	1,550,000	1,610,566	0.22
Standard Life Aberdeen Plc FRN 4.25% USD 30/06/2048*	2,500,000	1,846,480	0.26
Standard Life Aberdeen Plc FRN 6.75% GBP Perpetual*	800,000	1,007,000	0.14
Standard Life Aberdeen Plc FRN 6.546% GBP Perpetual*	1,000,000	1,093,437	0.15
Tesco Personal Finance Plc 5.2% GBP 24/08/2018	2,569,800	2,609,272	0.36
Tesco Personal Finance Plc 5% GBP 21/11/2020	4,920,000	5,183,318	0.72
Tesco Property Finance 2 Plc 6.052% GBP 13/10/2039	8,807,453	10,560,172	1.46
Tesco Property Finance 3 Plc 5.744% GBP 13/04/2040	9,950,840	11,768,262	1.63
Unilever Plc 1.125% GBP 03/02/2022	2,000,000	1,986,980	0.28
Virgin Money Plc 2.25% GBP 21/04/2020	4,593,000	4,668,209	0.65
Vodafone Group Plc 5.375% GBP 05/12/2017	1,330,000	1,330,173	0.18
Vodafone Group Plc 8.125% GBP 26/11/2018	12,498,000	13,360,191	1.85
Vodafone Group Plc 6.15% USD 27/02/2037	656,000	600,451	0.08
Vodafone Group Plc 3.375% GBP 08/08/2049	7,000,000	6,420,120	0.89
Vodafone Group Plc 3% GBP 12/08/2056	1,750,000	1,493,625	0.21
Western Power Distribution East Midlands Plc 5.25% GBP 17/01/2023	3,000,000	3,489,827	0.48
Western Power Distribution Plc 3.625% GBP 06/11/2023	1,210,000	1,299,433	0.18
Western Power Distribution West Midlands Plc 3.875% GBP 17/10/2024	1,537,000	1,707,254	0.24

Whitbread Group Plc 3.375% GBP 16/10/2025	3,975,000	4,166,416	0.58
Wm Morrison Supermarkets Plc 4.625% GBP 08/12/2023	4,741,000	5,367,483	0.74
Wm Morrison Supermarkets Plc 4.75% GBP 04/07/2029	4,300,000	4,993,458	0.69
Yorkshire Building Society FRN 4.125% GBP 20/11/2024*	1,970,000	2,052,032	0.28
Yorkshire Building Society 3.5% GBP 21/04/2026	1,950,000	2,092,204	0.29
Zurich Finance UK Plc FRN 6.625% GBP Perpetual*	1,000,000	1,188,750	0.16
		415,601,892	57.57
<b>アイルランド(9.05%)(2016年11月30日:6.13%)</b>			
Short Term Investments Company (Global Series) Plc - Sterling Liquidity Portfolio Agency Class †	65,313,761	65,313,761	9.05
<b>アメリカ(8.32%)(2016年11月30日:8.57%)</b>			
Amgen Inc 5.5% GBP 07/12/2026	2,500,000	3,122,240	0.43
Apple Inc 3.05% GBP 31/07/2029	3,000,000	3,274,545	0.45
Apple Inc 3.45% USD 09/02/2045	7,850,000	5,555,858	0.77
AT&T Inc 4.9% USD 14/08/2037	11,660,000	8,657,059	1.20
AT&T Inc 3.55% GBP 14/09/2037	4,970,000	4,890,281	0.68
Bank of America Corp 7.75% GBP 30/04/2018	1,000,000	1,027,665	0.14
Bank of America Corp 2.3% GBP 25/07/2025	2,590,000	2,591,710	0.36
BAT Capital Corp 2.125% GBP 15/08/2025	2,860,000	2,811,080	0.39
Dresdner Funding Trust I 8.151% USD 30/06/2031	1,250,000	1,237,727	0.17
Nestle Holdings Inc 1% GBP 11/06/2021	5,040,000	5,027,299	0.70
Pfizer Inc 6.5% GBP 03/06/2038	700,000	1,107,561	0.15
Procter & Gamble Co 1.375% GBP 03/05/2025	3,680,000	3,586,399	0.50
Verizon Communications Inc 4.4% USD 01/11/2034	1,700,000	1,277,206	0.18
Verizon Communications Inc 3.125% GBP 02/11/2035	4,800,000	4,591,200	0.63
Verizon Communications Inc 4.272% USD 15/01/2036	6,200,000	4,549,298	0.63
Walgreens Boots Alliance Inc 2.875% GBP 20/11/2020	4,900,000	5,102,226	0.71
Walgreens Boots Alliance Inc 3.8% USD 18/11/2024	2,150,000	1,641,694	0.23
		60,051,048	8.32
<b>オランダ(6.23%)(2016年11月30日:6.82%)</b>			
ABN AMRO Bank NV 4.75% USD 28/07/2025 144A	2,570,000	2,026,300	0.28
BMW Finance NV 0.875% GBP 16/08/2022	4,020,000	3,908,747	0.54
Cooperatieve Rabobank UA 4.625% GBP 23/05/2029	4,100,000	4,706,240	0.65
Deutsche Telekom International Finance BV 6.5% GBP 08/04/2022	530,000	639,769	0.09
Deutsche Telekom International Finance BV 9.25% USD 01/06/2032	1,000,000	1,167,953	0.16
innogy Finance BV 5.5% GBP 06/07/2022	2,000,000	2,338,999	0.32
innogy Finance BV 5.625% GBP 06/12/2023	8,000,000	9,642,252	1.34
Koninklijke KPN NV FRN 6.875% GBP 14/03/2073*	2,000,000	2,205,000	0.31
Shell International Finance BV 3.25% USD 11/05/2025	9,320,000	7,088,313	0.98
Siemens Financieringsmaatschappij NV 2.75% GBP 10/09/2025	2,500,000	2,677,502	0.37
Telefonica Europe BV FRN 6.75% GBP Perpetual*	5,000,000	5,540,600	0.77

Toyota Motor Finance Netherlands BV FRN 0.549% GBP 30/09/2019*	3,000,000	3,000,870	0.42
		44,942,545	6.23
<b>フランス(3.72%)(2016年11月30日 : 3.75%)</b>			
AXA SA FRN 5.453% GBP Perpetual*	2,000,000	2,290,000	0.32
AXA SA FRN 6.463% USD Perpetual*	950,000	724,712	0.10
BNP Paribas SA FRN 7.195% USD Perpetual 144A*	1,000,000	863,736	0.12
Electricite de France SA FRN 5.875% GBP Perpetual*	1,500,000	1,557,188	0.22
Electricite de France SA FRN 6% GBP Perpetual*	5,500,000	5,859,081	0.81
Orange SA FRN 5.75% GBP Perpetual*	5,780,000	6,455,133	0.89
Societe Generale SA FRN 8.875% GBP Perpetual*	6,000,000	6,246,600	0.86
WPP Finance SA 6.375% GBP 06/11/2020	2,500,000	2,858,348	0.40
		26,854,798	3.72
<b>イタリア(1.62%)(2016年11月30日 : 2.54%)</b>			
Republic of Italy Government International Bond 6% GBP 04/08/2028	3,000,000	3,708,262	0.51
Telecom Italia SpA 7.375% GBP 15/12/2017	8,000,000	8,014,760	1.11
		11,723,022	1.62
<b>ルクセンブルグ(1.39%)(2016年11月30日 : 0.14%)</b>			
European Investment Bank FRN 0.776% GBP 17/02/2020*	10,000,000	10,065,200	1.39
<b>バミューダ(1.10%)(2016年11月30日 : 1.37%)</b>			
Fidelity International Ltd 6.75% GBP 19/10/2020	4,000,000	4,533,586	0.63
Fidelity International Ltd 7.125% GBP 13/02/2024	2,750,000	3,438,964	0.47
		7,972,550	1.10
<b>スイス(0.95%)(2016年11月30日 : 1.09%)</b>			
Credit Suisse AG 6.5% USD 08/08/2023	2,223,000	1,860,649	0.26
Credit Suisse Group AG FRN 2.125% GBP 12/09/2025*	5,090,000	4,982,092	0.69
		6,842,741	0.95
<b>ケイマン諸島(0.81%)(2016年11月30日 : 0.90%)</b>			
Affinity Water Programme Finance Ltd 3.278% GBP 22/08/2042	1,980,000	2,132,387	0.30
Alibaba Group Holding Ltd 3.6% USD 28/11/2024	2,940,000	2,244,442	0.31
Phoenix Group Holdings 4.125% GBP 20/07/2022	1,360,000	1,434,412	0.20
		5,811,241	0.81
<b>ドイツ(0.60%)(2016年11月30日 : 1.13%)</b>			
Commerzbank AG 8.125% USD 19/09/2023 144A	1,800,000	1,618,489	0.22
Deutsche Bank AG 4.5% EUR 19/05/2026	2,700,000	2,743,191	0.38
		4,361,680	0.60
<b>カナダ(0.47%)(2016年11月30日 : -)</b>			
Royal Bank of Canada 1.125% GBP 22/12/2021	3,390,000	3,382,983	0.47
<b>ガーンジー(0.45%)(2016年11月30日 : 0.76%)</b>			
Credit Suisse Group Funding Guernsey Ltd 3% GBP 27/05/2022	3,065,000	3,211,535	0.45
<b>スペイン(0.25%)(2016年11月30日 : 0.25%)</b>			
Iberdrola Finanzas SA 6% GBP 01/07/2022	1,500,000	1,784,977	0.25
投資総額(取得原価 : 607,597,461英ポンド)		667,919,973	92.53

† 投資信託

\* 2017年11月30日現在の利率

## 「インベスコ マネープール・ファンド(適格機関投資家私募投信)」受益証券の状況

「インベスコ マネープール・ファンド(適格機関投資家私募投信)」は、第3期計算期間(平成28年11月22日から平成29年11月20日まで)の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による監査を受けております。

## (1)貸借対照表

(単位：円)

	第2期 (平成28年11月21日現在)	第3期 (平成29年11月20日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	2,375,857	2,373,606
流動資産合計	2,375,857	2,373,606
資産合計	2,375,857	2,373,606
負債の部		
流動負債		
未払利息	6	6
流動負債合計	6	6
負債合計	6	6
純資産の部		
元本等		
元本	2,377,565	2,377,565
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損 金( )	1,714	3,965
(分配準備積立金)	49	49
元本等合計	2,375,851	2,373,600
純資産合計	2,375,851	2,373,600
負債純資産合計	2,375,857	2,373,606

## (2)損益及び剰余金計算書

(単位：円)

	第2期		第3期	
	自 平成27年11月21日 至 平成28年11月21日		自 平成28年11月22日 至 平成29年11月20日	
営業収益				
受取利息	1,550		-	
有価証券売買等損益	693		-	
営業収益合計	2,243		-	
営業費用				
支払利息	1,534		2,187	
受託者報酬	3		-	
委託者報酬	53		-	
その他費用	571		64	
営業費用合計	2,161		2,251	
営業利益又は営業損失( )	4,404		2,251	
経常利益又は経常損失( )	4,404		2,251	
当期純利益又は当期純損失( )	4,404		2,251	
一部解約に伴う当期純利益金額の分配 額又は一部解約に伴う当期純損失金額 の分配額( )	2,566		-	
期首剰余金又は期首欠損金( )	251		1,714	
剰余金増加額又は欠損金減少額	537		-	
当期追加信託に伴う剰余金増加額又 は欠損金減少額	537		-	
剰余金減少額又は欠損金増加額	664		-	
当期一部解約に伴う剰余金減少額又 は欠損金増加額	664		-	
分配金	-		-	
期末剰余金又は期末欠損金( )	1,714		3,965	

## (3)注記表

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	計算期間末日の取扱い 平成28年11月20日が休日のため、信託約款第34条第2項により、当計算期間開始日を平成28年11月22日としております。このため、当計算期間は364日となっております。
-------------------------	---

## (貸借対照表に関する注記)

第2期 (平成28年11月21日現在)		第3期 (平成29年11月20日現在)	
1. 期首元本額	5,350,000円	1. 期首元本額	2,377,565円
期中追加設定元本額	6,529,465円	期中追加設定元本額	- 円
期中解約元本額	9,501,900円	期中解約元本額	- 円
2. 計算期間末日における受益権の総数	2,377,565口	2. 計算期間末日における受益権の総数	2,377,565口
3. 元本の欠損 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は1,714円であります。		3. 元本の欠損 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は3,965円であります。	

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

第2期 自 平成27年11月21日 至 平成28年11月21日	第3期 自 平成28年11月22日 至 平成29年11月20日
<b>分配金の計算過程</b> 計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(0円)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(46円)及び分配準備積立金(49円)より分配対象収益は95円(1万口当たり0.39円)ですが、分配を行っておりません。	<b>分配金の計算過程</b> 計算期間末における配当等収益から費用を控除した額(0円)、有価証券売買等損益から費用を控除した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(46円)及び分配準備積立金(49円)より分配対象収益は95円(1万口当たり0.39円)ですが、分配を行っておりません。

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の状況に関する事項

1. 金融商品に対する取組方針	証券投資信託として、有価証券等の金融商品に対する投資を、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い行っております。
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融資産は、主として円貨建ての短期公社債及び短期金融商品であります。 円貨建ての短期公社債及び短期金融商品は、公社債にかかるリスク等にさらされております。



3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>取締役会で定めたリスク管理の基本方針、及びリスク管理規程に従い、包括的なリスク管理を「リスク管理委員会」(以下「RMC」といいます。)で行います。RMCは、社内各部署から報告された各種リスクを検討、協議し、具体的なリスク管理方針を策定します。</p> <p>RMCでは、分会として「運用リスク管理委員会」(以下「IRMC」といいます。)を開催し、運用リスクの管理を行います。IRMCは、運用リスクを把握し、運用の適切性・妥当性を検証、審議して、その結果をRMCへ報告します。</p>
-------------------	--

## 金融商品の時価等に関する事項

項 目	第 2 期 (平成28年11月21日現在)	第 3 期 (平成29年11月20日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1)有価証券 該当事項はありません。</p> <p>(2)デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品については、短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。</p>	<p>(1)有価証券 同左</p> <p>(2)デリバティブ取引 同左</p> <p>(3)上記以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足事項	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## (有価証券に関する注記)

## 売買目的有価証券

第 2 期 (平成28年11月21日現在)	第 3 期 (平成29年11月20日現在)
該当事項はありません。	同左

## (デリバティブ取引等に関する注記)

第 2 期 (平成28年11月21日現在)	第 3 期 (平成29年11月20日現在)
該当事項はありません。	同左

## (関連当事者との取引に関する注記)

第 2 期 自 平成27年11月21日 至 平成28年11月21日	第 3 期 自 平成28年11月22日 至 平成29年11月20日
該当事項はありません。	同左

## (1口当たり情報に関する注記)

第 2 期 (平成28年11月21日現在)	第 3 期 (平成29年11月20日現在)
1口当たり純資産額 0.9993円 (1万口当たり純資産額 9,993円)	1口当たり純資産額 0.9983円 (1万口当たり純資産額 9,983円)

## (4) 附属明細表

## 第 1 有価証券明細表

## 株式

該当事項はありません。

## 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

## 第 2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第 3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 2【ファンドの現況】

## 【純資産額計算書】(2018年5月31日現在)

資産総額	19,914,475 円
負債総額	9,533,522 円
純資産総額( - )	10,380,953 円
発行済数量	10,981,173 口
1 単位当たり純資産額( / )	0.9453 円

## (参考) インベスコ 英国ポンド建て債券 マザーファンド

資産総額	1,634,426,426 円
負債総額	42 円
純資産総額( - )	1,634,426,384 円
発行済数量	1,871,221,944 口
1 単位当たり純資産額( / )	0.8735 円

## 第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

名義書換	該当事項はありません。
受益者等に対する特典	該当事項はありません。
譲渡制限の内容	譲渡制限は設けておりません。
受益証券の不発行	委託会社は、やむを得ない事情などがある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。 受益者は、委託会社がやむを得ない事情などにより受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。
受益権の譲渡	受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。 上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。 上記の振替について、委託者は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託者が必要と認めるときまたはやむをえない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。
受益権の譲渡の対抗要件	受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。
受益権の再分割	委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法の規定に従い、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。
質権口記載または記録の受益権の取り扱い	振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる分配金の支払い、換金の申し込みの受け付け、換金代金および償還金の支払いなどについては、信託約款の規定によるほか、民法その他の法令などに従って取り扱われます。

## 第三部【委託会社等の情報】

### 第1【委託会社等の概況】

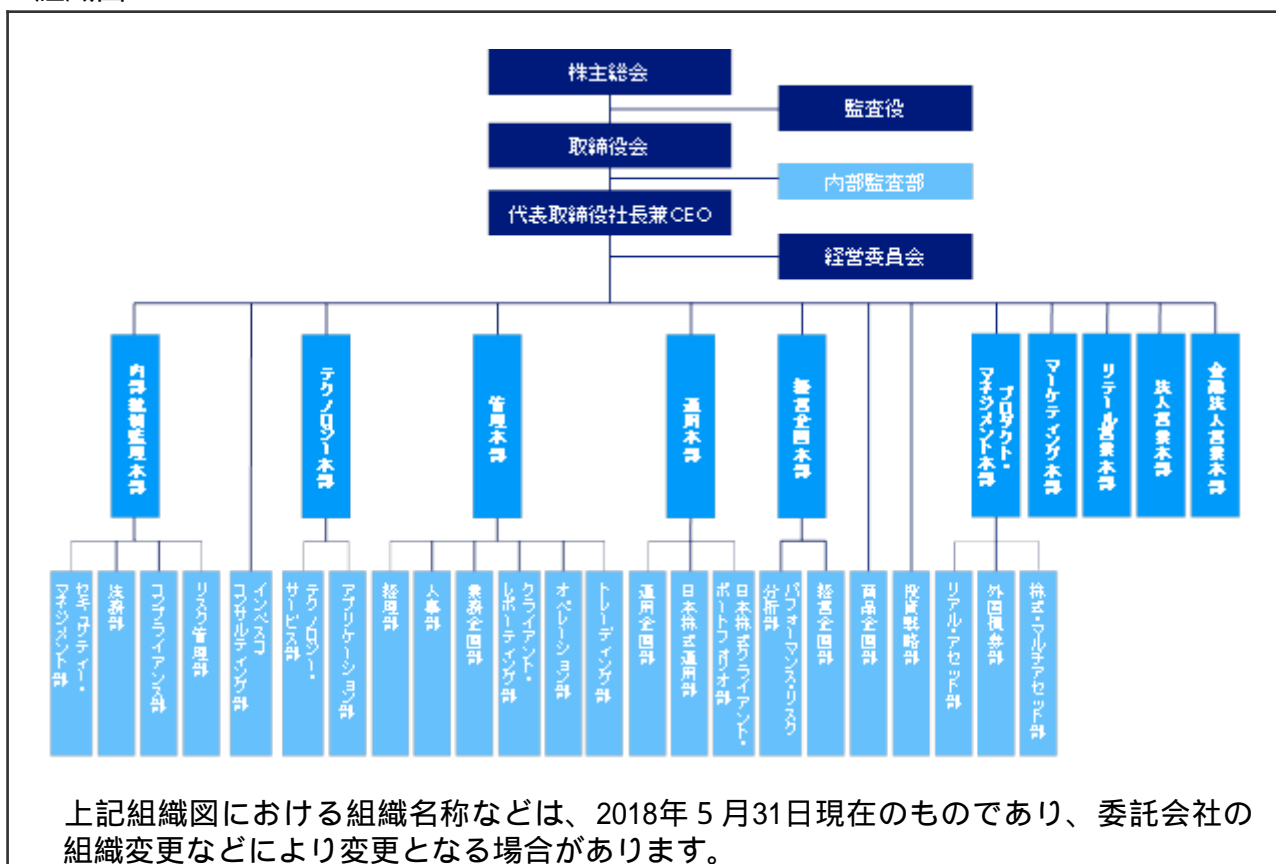
#### 1【委託会社等の概況】

##### (1)資本金の額

2018年5月31日 現在の状況	資本金：4,000百万円 発行可能株式総数：56,400株 発行済株式総数：40,000株
直近5カ年における主 な資本金の額の増減	該当事項はありません。

##### (2)委託会社等の機構

###### 組織図



## 会社の意思決定機構

取締役会	取締役の全員をもって構成される取締役会は、代表取締役社長兼CEOを議長とし、原則として四半期ごとに開催されます。取締役会は、経営管理全般に関する重要な事項について、取締役の過半数が出席し、出席取締役の過半数をもって決議します。
代表取締役社長兼CEO	代表取締役社長兼CEOは、委託会社の全般的な業務執行の最高責任者として、取締役会で決議された事項または委任を受けた事項の遂行に対し、権限と責任を有します。
経営委員会	取締役等から構成される経営委員会は、代表取締役社長兼CEOを議長とし、原則として月次で開催されます。経営委員会は、取締役会で決定した基本方針に基づき、取締役会から委譲を受けた権限の範囲内において、経営管理全般に関する重要な事項を協議・決定します。

## 投資運用に関する意思決定プロセス

Plan（計画）	基本的な運用方針は、投資戦略委員会（原則、月次で開催）で分析・討議された投資環境を踏まえ、銘柄検討会議およびポートフォリオ構築/戦略会議（原則、週次あるいは日次で開催）を経て決定されます。
Do（実行）	運用部門のポートフォリオ・マネジャーは、上記の委員会または運用会議の討議内容等を踏まえ、運用計画書を策定し、運用本部長の承認を受け、運用ガイドライン、運用基本方針および運用計画書に従って、ポートフォリオを構築します。
See（検証）	運用リスク管理委員会(原則、月次で開催)は、リスク管理委員会(原則、月次で開催)の分会として、定量的なリスク計測結果をもとに、運用の適切性・妥当性を検証、審議します。また、運用本部から独立したコンプライアンス部が、常時、関連法令および運用ガイドラインなどの遵守状況をチェックし、運用の信頼性・安定性の確保を図ります。

## 2【事業の内容及び営業の概況】

事業の内容	「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに、「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行っています。		
運用する投資信託財産の合計純資産総額	(2018年5月31日現在)		
	基本的性格	ファンド数	純資産総額(単位：百万円)
	株式投資信託	98	1,782,323
	公社債投資信託	-	-
	合計	98	1,782,323
	*ファンド数および純資産総額は、親投資信託を除きます。		

### 3【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）ならびに同規則第2条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。  
なお、財務諸表の記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当事業年度（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により監査を受けております。

## 1. 財務諸表

## (1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

科目	前事業年度 (平成29年3月31日)		当事業年度 (平成29年12月31日)	
	内訳	金額	内訳	金額
(資産の部)				
流動資産				
預金		5,362,960		4,986,282
前払費用		73,692		89,406
未収入金		608,891		606,560
未収委託者報酬		350,959		464,530
未収運用受託報酬		601,532		606,201
未収投資助言報酬		7,942		11,221
未収還付法人税等		2,827		-
未収消費税等		19,308		-
繰延税金資産		155,362		220,738
その他の流動資産		11,378		392
流動資産計		7,194,856		6,985,333
固定資産				
有形固定資産 1				
建物附属設備	121,122		110,533	
器具備品	62,454		53,653	
建設仮勘定	336		41,358	
リース資産	7,173	191,086	4,946	210,492
無形固定資産				
ソフトウェア	8,824		9,793	
ソフトウェア仮勘定	2,291		16,190	
電話加入権	3,972		3,972	
のれん	330,965		312,232	
顧客関連資産	1,774,129	2,120,184	1,673,707	2,015,895
投資その他の資産				
投資有価証券	3,259		3,686	
差入保証金	378,536		384,874	
その他の投資	1,598	383,394	3,143	391,704
固定資産計		2,694,665		2,618,092
資産合計		9,889,521		9,603,426



科目	前事業年度 (平成29年3月31日)		当事業年度 (平成29年12月31日)	
	内訳	金額	内訳	金額
<b>(負債の部)</b>				
<b>流動負債</b>				
預り金		44,060		42,997
リース債務		3,208		3,236
未払金				
未払収益分配金	20		-	
未払償還金	33,808		-	
未払手数料	123,366		120,298	
その他未払金	263,090	420,285	254,392	374,691
未払費用		184,224		196,263
未払法人税等		314,486		452,262
未払消費税等		-		24,738
賞与引当金		243,011		1,158,769
その他の流動負債		16,412		30,108
流動負債計		1,225,689		2,283,068
<b>固定負債</b>				
長期預り金		117,535		117,535
リース債務		4,608		2,178
退職給付引当金		514,466		589,090
役員退職慰労引当金		75,073		86,457
資産除去債務		82,470		82,365
繰延税金負債		4,926		4,255
固定負債計		799,080		881,882
負債合計		2,024,769		3,164,950
<b>(純資産の部)</b>				
<b>株主資本</b>				
資本金		4,000,000		4,000,000
資本剰余金				
資本準備金	1,406,953	1,406,953	1,406,953	1,406,953
資本剰余金合計		1,406,953		1,406,953
利益剰余金				
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	2,457,330	2,457,330	1,030,758	1,030,758
利益剰余金合計		2,457,330		1,030,758
株主資本合計		7,864,283		6,437,711
<b>評価・換算差額等</b>				
その他有価証券評価差額金		467		763
評価・換算差額等合計		467		763
純資産合計		7,864,751		6,438,475
負債・純資産合計		9,889,521		9,603,426

## (2)【損益計算書】

(単位：千円)

科目	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)		当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	
	内訳	金額	内訳	金額
営業収益				
委託者報酬		2,323,928		1,852,178
運用受託報酬		1,990,913		1,881,211
投資助言報酬		39,070		42,299
その他営業収益		4,293,593		3,069,058
営業収益計		8,647,506		6,844,748
営業費用				
支払手数料		884,093		691,795
広告宣伝費		94,416		57,909
公告費		1,520		-
調査費				
調査費	285,837		210,421	
委託調査費	588,121		461,935	
図書費	2,559	876,518	1,631	673,988
委託計算費		304,074		255,988
営業雑経費				
通信費	16,855		14,681	
印刷費	71,586		54,192	
協会費	10,718	99,159	9,294	78,167
営業費用計		2,259,782		1,757,849
一般管理費				
給料				
役員報酬	97,438		74,357	
給料・手当	1,534,639		1,247,994	
賞与	1,113,324	2,745,402	265,086	1,587,439
交際費		51,330		53,074
寄付金		1,465		1,100
旅費交通費		143,817		149,277
租税公課		88,180		63,175
不動産賃借料		316,450		263,924
退職給付費用		192,060		160,315
役員退職慰労引当金繰入額		12,515		11,383
賞与引当金繰入額		243,011		915,757
減価償却費		213,944		155,186
福利厚生費		239,414		207,104
諸経費		1,118,105		1,002,663
一般管理費計		5,365,697		4,570,402
営業利益		1,022,026		516,495

科目	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)		当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	
	内訳	金額	内訳	金額
営業外収益				
受取利息		6		0
保険配当金		3,916		4,489
雑益		583		33,940
営業外収益計		4,507		38,429
営業外費用				
支払利息		109		58
投資有価証券売却損		23		-
為替換算差損		4,254		695
雑損		2,419		118
営業外費用計		6,807		871
経常利益		1,019,726		554,053
税引前当期純利益		1,019,726		554,053
法人税、住民税及び事業税		320,224		546,803
法人税等調整額		68,199		66,177
法人税等計		388,423		480,625
当期純利益		631,302		73,427

## (3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本 剰余金合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	4,000,000	1,406,953	1,406,953	1,826,028	1,826,028	7,232,981
当期変動額						
当期純利益				631,302	631,302	631,302
株主資本以外 の項目の当期 の変動額 (純額)						
当期変動額合計	-	-	-	631,302	631,302	631,302
当期末残高	4,000,000	1,406,953	1,406,953	2,457,330	2,457,330	7,864,283

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	230	230	7,233,212
当期変動額			
当期純利益			631,302
株主資本以外 の項目の当期 の変動額 (純額)	237	237	237
当期変動額合計	237	237	631,539
当期末残高	467	467	7,864,751

当事業年度（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

（単位：千円）

	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本 剰余金合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	4,000,000	1,406,953	1,406,953	2,457,330	2,457,330	7,864,283
当期変動額						
当期純利益				73,427	73,427	73,427
剰余金の配当				1,500,000	1,500,000	1,500,000
株主資本以外 の項目の当期 の変動額 (純額)						
当期変動額合計	-	-	-	1,426,572	1,426,572	1,426,572
当期末残高	4,000,000	1,406,953	1,406,953	1,030,758	1,030,758	6,437,711

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	467	467	7,864,751
当期変動額			
当期純利益			73,427
剰余金の配当			1,500,000
株主資本以外 の項目の当期 の変動額 (純額)	296	296	296
当期変動額合計	296	296	1,426,277
当期末残高	763	763	6,438,475

## [注記事項]

## （重要な会計方針）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法  
    その他有価証券  
    時価のあるもの  
    決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）
2. 固定資産の減価償却の方法
  - （1）有形固定資産  
    定率法を採用しております。ただし、資産除去債務に係る建物附属設備及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。  
    なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。  
    建物附属設備 5～18年  
    器具備品 3～15年
  - （2）無形固定資産  
    定額法を採用しております。  
    なお、主な償却年数は20年であります。  
    ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。
  - （3）リース資産  
    所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
    リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
3. 引当金の計上基準
  - （1）貸倒引当金  
    一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。なお、当事業年度末に計上すべき貸倒引当金はありません。
  - （2）賞与引当金  
    従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。
  - （3）退職給付引当金  
    従業員の退職給付に備えるため、簡便法により、当事業年度末における自己都合退職による要支給額を計上しております。
  - （4）役員退職慰労引当金  
    役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づき、当事業年度末における要支給額を計上しております。
4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準  
    外貨建金銭債権債務は、当事業年度末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は為替換算差益又は為替換算差損として処理しております。
5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項
  - （1）消費税等の会計処理  
    消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっております。
  - （2）決算期の変更  
    平成29年6月23日開催の定時株主総会における定款の一部変更の決議により、決算期末を3月31日から12月31日に変更しました。したがって、当事業年度は平成29年4月1日から平成29年12月31日までの9カ月間となっております。

## （貸借対照表関係）

## 1 有形固定資産の減価償却累計額

（単位：千円）

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成29年12月31日)
有形固定資産の減価償却累計額	288,481	322,242

## （株主資本等変動計算書関係）

前事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

## 1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	40,000	-	-	40,000

## 2 配当に関する事項

## （1）配当金支払額

該当事項はありません。

## （2）基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力 発生日
平成29年6月23日 定時株主総会	普通株式	1,500,000	利益 剰余金	37,500	平成29年 3月31日	平成29年 6月24日

当事業年度（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

## 1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	40,000	-	-	40,000

## 2 配当に関する事項

## （1）配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力 発生日
平成29年6月23日 定時株主総会	普通株式	1,500,000	利益 剰余金	37,500	平成29年 3月31日	平成29年 6月24日

## （2）基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

該当事項はありません。

## （リース取引関係）

## 1 オペレーティング・リース取引

## （借主側）

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

（単位：千円）

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成29年12月31日)
1年内	249,762	249,762

1年超	853,353	666,032
合計	1,103,116	915,794

なお、オペレーティング・リース取引の内容は、不動産賃借によるものであります。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、主に投資助言・代理業及び投資運用業を行っており、資金計画に照らして、必要な資金(主にグループ本社より資本増資)を調達しております。デリバティブ等の投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

国内の未収入金に関しては、顧客の契約不履行によってもたらされる信用リスクに晒されており、国外拠点に対する外貨建ての債権債務に関しては、各月末から次月精算までの短期為替変動によるリスクに晒されております。また、投資有価証券は、主に投資信託であり、当社の投資信託設定のための小額資金投資で売買目的ではありません。未収入金等については、定期的に残高、期日を適切に把握する体制を整えております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。



前事業年度(平成29年3月31日)

(単位:千円)

	貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
(1)預金	5,362,960	5,362,960	-
(2)未収入金	608,891	608,891	-
(3)未収委託者報酬	350,959	350,959	-
(4)未収運用受託報酬	601,532	601,532	-
(5)未収投資助言報酬	7,942	7,942	-
(6)未収還付法人税等	2,827	2,827	-
(7)未収消費税等	19,308	19,308	-
(8)投資有価証券 その他有価証券	3,259	3,259	-
(9)差入保証金	378,536	378,337	199
資産計	7,336,218	7,336,019	199
(1)預り金	(44,060)	(44,060)	-
(2)未払収益分配金	(20)	(20)	-
(3)未払償還金	(33,808)	(33,808)	-
(4)未払手数料	(123,366)	(123,366)	-
(5)その他未払金	(263,090)	(263,090)	-
(6)未払費用	(184,224)	(184,224)	-
(7)未払法人税等	(314,486)	(314,486)	-
(8)長期預り金	(117,535)	(117,471)	64
負債計	(1,080,592)	(1,080,528)	64

(\*) 負債に計上されているものについては、( )で示しています。

当事業年度（平成29年12月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表 計上額(*)	時価(*)	差額
(1)預金	4,986,282	4,986,282	-
(2)未収入金	606,560	606,560	-
(3)未収委託者報酬	464,530	464,530	-
(4)未収運用受託報酬	606,201	606,201	-
(5)未収投資助言報酬	11,221	11,221	-
(6)投資有価証券 その他有価証券	3,686	3,686	-
(7)差入保証金	384,874	383,650	1,224
資産計	7,063,354	7,062,130	1,224
(1)預り金	(42,997)	(42,997)	-
(2)未払手数料	(120,298)	(120,298)	-
(3)その他未払金	(254,392)	(254,392)	-
(4)未払費用	(196,263)	(196,263)	-
(5)未払法人税等	(452,262)	(452,262)	-
(6)未払消費税等	(24,738)	(24,738)	-
(7)長期預り金	(117,535)	(117,143)	391
負債計	(1,208,485)	(1,208,095)	391

(\*) 負債に計上されているものについては、( )で示しています。

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

前事業年度（平成29年3月31日）

資産

(1)預金 (2)未収入金 (3)未収委託者報酬 (4)未収運用受託報酬 (5)未収投資助言報酬  
(6)未収還付法人税等 (7)未収消費税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから当該帳簿価額によっております。

(8)投資有価証券

基準価額を基に算出しております。

(9)差入保証金

返還されるまでの残存期間に応じた日本円のスワップカーブにおける利回りで割り引いた現在価値により算定しております。

## 負債

(1)預り金 (2)未払収益分配金 (3)未払償還金 (4)未払手数料 (5)その他未払金 (6)未払費用(7)未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから当該帳簿価額によっております。

(8)長期預り金

返還するまでの残存期間に応じた日本円のスワップカーブにおける利回りで割り引いた現在価値により算定しております。

当事業年度（平成29年12月31日）

## 資産

(1)預金 (2)未収入金 (3)未収委託者報酬 (4)未収運用受託報酬 (5)未収投資助言報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから当該帳簿価額によっております。

(6)投資有価証券

基準価額を基に算出しております。

(7)差入保証金

返還されるまでの残存期間に応じた日本円のスワップカーブにおける利回りで割り引いた現在価値により算定しております。

## 負債

(1)預り金 (2)未払手数料 (3)その他未払金 (4)未払費用 (5)未払法人税等 (6)未払消費税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから当該帳簿価額によっております。

(7)長期預り金

返還するまでの残存期間に応じた日本円のスワップカーブにおける利回りで割り引いた現在価値により算定しております。

(注2) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度（平成29年3月31日）

（単位：千円）

	1年以内	1年超 10年以内	10年超
(1)預金	5,362,960	-	-
(2)未収入金	608,891	-	-
(3)未収委託者報酬	350,959	-	-
(4)未収運用受託報酬	601,532	-	-
(5)未収投資助言報酬	7,942	-	-
(6)差入保証金	-	378,536	-
合計	6,932,286	378,536	-

当事業年度（平成29年12月31日）

（単位：千円）

	1年以内	1年超 10年以内	10年超
(1)預金	4,986,282	-	-
(2)未収入金	606,560	-	-
(3)未収委託者報酬	464,530	-	-
(4)未収運用受託報酬	606,201	-	-
(5)未収投資助言報酬	11,221	-	-
(6)差入保証金	-	384,874	-
合計	6,674,794	384,874	-

## （有価証券関係）

## 1. その他有価証券

前事業年度（平成29年3月31日）

（単位：千円）

	取得原価	貸借対照表日における貸借対照表計上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	2,385	3,071	686
小計	2,385	3,071	686
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	200	188	11
小計	200	188	11
合計	2,585	3,259	674

当事業年度（平成29年12月31日）

（単位：千円）

	取得原価	貸借対照表日における貸借対照表計上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	2,385	3,488	1,102
小計	2,385	3,488	1,102
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	200	198	1
小計	200	198	1
合計	2,585	3,686	1,100

## 2. 事業年度中に売却したその他有価証券

前事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

（単位：千円）

種 類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	750	27	50
合計	750	27	50

当事業年度（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

当事業年度におけるその他有価証券の売却はありません。

## （退職給付関係）

前事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

## 1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に充てるため、非積立型の確定給付型の制度として退職一時金制度を採用しており、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

## 2. 簡便法を適用した確定給付制度

## （1）簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

（単位：千円）

前事業年度 (平成29年3月31日)	
退職給付引当金の期首残高	485,351
退職給付費用	159,355
退職給付の支払額	95,968
その他の未払金への振替額	34,272
退職給付引当金の期末残高	514,466

## （2）退職給付に関連する損益

（単位：千円）

前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	
簡便法で計算した退職給付費用	159,355

## 3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は前事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）において、32,704千円であります。

当事業年度(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

### 1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に充てるため、非積立型の確定給付型の制度として退職一時金制度を採用しており、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

### 2. 簡便法を適用した確定給付制度

#### (1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

(単位：千円)	
当事業年度 (平成29年12月31日)	
退職給付引当金の期首残高	514,466
退職給付費用	131,908
退職給付の支払額	51,987
その他の未払金への振替額	5,295
退職給付引当金の期末残高	589,090

#### (2) 退職給付に関連する損益

(単位：千円)	
当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	
簡便法で計算した退職給付費用	131,908

### 3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は当事業年度(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)において、28,407千円であります。

## （税効果会計関係）

## 1．繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

（単位：千円）

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成29年12月31日)
繰延税金資産		
(1)流動資産		
賞与引当金	74,993	357,596
未払費用	34,002	22,052
未払退職金	17,213	1,634
株式報酬費用	9,153	90,959
その他	19,999	42,019
計	155,362	514,261
(2)固定資産		
退職給付引当金	157,529	180,379
役員退職給付引当金	22,987	26,473
資産除去債務	25,252	25,220
計	205,769	232,073
繰延税金資産小計	361,131	746,334
評価性引当額	205,769	525,595
繰延税金資産合計	155,362	220,738
繰延税金負債		
(1)固定負債		
資産除去債務	4,720	3,918
その他有価証券評価差額金	206	337
繰延税金負債合計	4,926	4,255
繰延税金資産純額	150,435	216,482

## 2．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

前事業年度（平成29年3月31日）

法定実効税率	30.8%
（調整）	
交際費等永久に損金に算入されない項目	8.0%
住民税均等割等	0.3%
評価性引当額の増減額	1.9%
過年度法人税等調整額の修正	3.3%
その他	0.1%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	37.9%



当事業年度（平成29年12月31日）

法定実効税率 （調整）	30.8%
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.7%
住民税均等割等	0.5%
評価性引当額の増減額	57.3%
その他	2.6%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	86.7%

## 3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

前事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正はありません。

当事業年度（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正はありません。

（資産除去債務関係）

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

（1）当該資産除去債務の概要

建物の不動産賃貸借取引に伴う原状回復義務等であります。

（2）当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から5年と見積り、割引率は 0.17%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

（3）当該資産除去債務の総額の増減

（単位：千円）

	前事業年度		当事業年度	
	（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）		（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）	
当期首残高		64,967		82,470
建物の不動産賃貸借契約の更新及びオフィスレイアウト変更工事に伴う再見積りによる増加額		17,451		-
時の経過による調整額		50		105
当期末残高		82,470		82,365

## （セグメント情報等）

## [セグメント情報]

前事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

当社は、投信投資顧問業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

当社は、投信投資顧問業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## [関連情報]

前事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

## 製品及びサービスごとの情報

製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同じであることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

## 地域ごとの情報

## （1）営業収益

（単位：千円）

日本	米国	欧州	その他	合計
1,389,815	4,145,484	716,502	71,774	6,323,575

（注1）営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

（注2）営業収益のうち委託者報酬に関しては、当社が運用している投資信託は大半が公募投信であり、委託者報酬を最終的に負担する受益者の情報は制度上把握しえないため、除外しております。

## （2）有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

## 主要な顧客ごとの情報

## （1）その他営業収益

（単位：千円）

顧客の氏名又は名称	その他営業収益	関連するセグメント名
Invesco Advisers, Inc.	3,262,827	投信投資顧問業

## （2）委託者報酬

委託者報酬については、制度上、顧客情報を知りえないため、記載を省略しております。

## （3）運用受託報酬

運用受託報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

## (4) 投資助言報酬

投資助言報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

当事業年度（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

## 製品及びサービスごとの情報

製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同じであることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

## 地域ごとの情報

## (1) 営業収益

(単位：千円)

日本	米国	欧州	その他	合計
1,204,914	2,927,206	722,570	137,878	4,992,569

(注1) 営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(注2) 営業収益のうち委託者報酬に関しては、当社が運用している投資信託は大半が公募投信であり、委託者報酬を最終的に負担する受益者の情報は制度上把握しえないため、除外しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

## 主要な顧客ごとの情報

## (1) その他営業収益

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	その他営業収益	関連するセグメント名
Invesco Advisers, Inc.	1,948,783	投信投資顧問業
Invesco Senior Secured Management, Inc.	783,585	投信投資顧問業

## (2) 委託者報酬

委託者報酬については、制度上、顧客情報を知りえないため、記載を省略しております。

（３）運用受託報酬

運用受託報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

（４）投資助言報酬

投資助言報酬については、顧客との守秘義務契約により、開示が出来ないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

前事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

前事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（関連当事者情報）

１．関連当事者との取引

（１）財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等に限る。）等

前事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

前事業年度においては、開示すべき重要な親会社及び主要株主等との取引はありません。

当事業年度（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

当事業年度においては、開示すべき重要な親会社及び主要株主等との取引はありません。

（２）財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

## 前事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所 有)割合 (%)	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社の子会社	Invesco Advisers, Inc.	1555 Peachtree Street Atlanta, Georgia 30309, USA	1,169,065 千米ドル	投資顧問業	なし	投資顧問契約の 再委任等	運用受託報酬及 びその他営業収 益の受取	3,262,827	未収入金	405,793

(注1) 取引金額、期末残高には消費税等が含まれておりません。

(注2) 運用受託報酬及びその他営業収益の算定方法については、第三者による検討結果に基づいたグループ内のポリシーにより決定しております。

## 当事業年度（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所 有)割合 (%)	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社の子会社	Invesco Advisers, Inc.	1555 Peachtree Street Atlanta, Georgia 30309, USA	1,169,065 千米ドル	投資顧問業	なし	投資顧問契約の 再委任等	運用受託報酬 及びその他営 業収益の受取	2,099,347	未収入金	343,181
親会社の子会社	Invesco Senior Secured Management, Inc.	1166 Avenue of the Americas New York, NY 10036, USA	4,502 千米ドル	投資顧問業	なし	投資顧問契約の 再委任等	その他営業収 益の受取	783,585	未収入金	89,533

(注1) 取引金額、期末残高には消費税等が含まれておりません。

(注2) 運用受託報酬及びその他営業収益の算定方法については、第三者による検討結果に基づいたグループ内のポリシーにより決定しております。

## 2. 親会社に関する注記

## 親会社情報

Invesco Far East Ltd. (非上場)

Invesco Holdings Company Ltd. (非上場、持株会社)

Invesco Ltd. (ニューヨーク証券取引所に上場)

## (1株当たり情報)

前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
1株当たり純資産額 196,618円77銭	1株当たり純資産額 160,961円88銭
1株当たり当期純利益金額 15,782円55銭	1株当たり当期純利益金額 1,835円69銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

## 2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
当期純利益金額(千円)	631,302	73,427
普通株式に係る当期純利益(千円)	631,302	73,427
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
期中平均株式数(株)	40,000	40,000

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4【利害関係人との取引制限】

<p>金融商品取引法で禁止されている、利害関係人との取引行為</p>	<p>a. 自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。</p> <p>b. 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。</p> <p>c. 通常取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じです。）または子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じです。）と有価証券の売買その他の取引または店頭デリバティブ取引を行うこと。</p> <p>d. 委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額または市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。</p> <p>e. 上記c. およびd. に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。</p>
------------------------------------	---

## 5【その他】

<p>定款の変更等</p>	<p>2017年6月23日開催の定時株主総会で当社の決算期の変更を行うことを決議し、定款変更を行いました。</p> <p>&lt; 決算期変更の内容 &gt;</p> <p>変更前：毎年4月1日から3月31日</p> <p>変更後：毎年1月1日から12月31日</p> <p>これにより第28期は2017年4月1日から2017年12月31日までの9カ月間、第29期以降は、毎年1月1日から12月31日までの12カ月間となります。</p>
<p>訴訟事件その他重要事項</p>	<p>訴訟、その他会社の経営に重要な影響を与えた事実、または与えると予想される事実はありません。</p>

## 第2【その他の関係法人の概況】

## 1【名称、資本金の額及び事業の内容】

## (1)受託会社

名称	資本金の額 (平成29年9月30日現在)	事業の内容
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

## (2)販売会社

名称	資本金の額 (平成29年9月30日現在)	事業の内容
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	40,500百万円	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
株式会社三菱UFJ銀行	1,711,958百万円	銀行法に基づき銀行業務を営んでいます。

## (3)投資顧問会社

名称	資本金の額 (平成29年12月31日現在)	事業の内容
シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッド	2,000,200香港ドル	資産運用業務を営んでいます。

## 2【関係業務の概要】

受託会社	ファンドの受託会社として、投資信託財産の保管・管理・計算などを行います。 受託会社は、ファンドにかかる信託事務の一部につき、下記再信託受託会社に委託することができます。								
再信託受託会社の概要	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>日本マスタートラスト信託銀行株式会社</td> </tr> <tr> <td>資本金</td> <td>10,000百万円(平成29年9月30日現在)</td> </tr> <tr> <td>事業の内容</td> <td>銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。</td> </tr> <tr> <td>再信託の目的</td> <td>原信託契約にかかる信託事務の一部（信託財産の管理）を、原信託受託会社から再信託受託会社（日本マスタートラスト信託銀行株式会社）へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託会社へ移管することを目的とします。</td> </tr> </tbody> </table>	名称	日本マスタートラスト信託銀行株式会社	資本金	10,000百万円(平成29年9月30日現在)	事業の内容	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。	再信託の目的	原信託契約にかかる信託事務の一部（信託財産の管理）を、原信託受託会社から再信託受託会社（日本マスタートラスト信託銀行株式会社）へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託会社へ移管することを目的とします。
名称	日本マスタートラスト信託銀行株式会社								
資本金	10,000百万円(平成29年9月30日現在)								
事業の内容	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。								
再信託の目的	原信託契約にかかる信託事務の一部（信託財産の管理）を、原信託受託会社から再信託受託会社（日本マスタートラスト信託銀行株式会社）へ委託するため、原信託財産のすべてを再信託受託会社へ移管することを目的とします。								



販売会社	ファンドの販売会社として、受益権の募集・販売の取り扱いを行い、投資信託説明書(交付目論見書)・投資信託説明書(請求目論見書)の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資に関する事務などを行います。
投資顧問会社	委託会社よりファンドの外国為替予約取引等の指図に関する権限の一部の委託を受けて、為替アクティブヘッジにかかる運用指図、投資判断・発注などを行います。

### 3【資本関係】

受託会社	該当事項はありません。
販売会社	該当事項はありません。
投資顧問会社	該当事項はありません。

## 第3【その他】

目論見書の名称等	目論見書の別称として「投資信託説明書（交付目論見書）」または「投資信託説明書（請求目論見書）」という名称を用いることがあります。
目論見書の表紙等の記載事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付目論見書の表紙等に、以下の趣旨の事項を記載します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- ファンドに関する「投資信託説明書（請求目論見書）」（以下「請求目論見書」といいます。）を含む詳細な情報は、委託会社のホームページに掲載しています。また、信託約款の全文は請求目論見書に記載しています。</li> <li>- ファンドの商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号）に基づき、事前に受益者の意向を確認します。</li> <li>- ファンドの投資信託財産は、信託法（平成18年法律第108号）に基づき、受託会社において分別管理されています。</li> </ul> </li> <li>・ 請求目論見書の表紙等に、課税上は株式投資信託として取り扱われる旨を記載することがあります。</li> <li>・ 請求目論見書の表紙等に、以下の趣旨の事項を記載することがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- インベスコ 英国ポンド建て債券ファンド＜為替アクティブヘッジ＞（毎月決算型）は、投資信託証券への投資を通じて、実質的に公社債など値動きのある有価証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）などに投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。</li> <li>・ 目論見書の表紙等に使用開始日を記載することがあります。</li> <li>・ 目論見書の表紙等または本文にロゴ・マーク、図案およびキャッチコピーを採用すること、またファンドの商品分類、お申し込みに関する事項などを記載することがあります。</li> <li>・ 目論見書の表紙等に、投信評価機関、投信評価会社などによるレーティング、評価情報および評価分類などを表示する場合があります。</li> </ul> </li> </ul>
請求目論見書の掲載事項	請求目論見書に、ファンドの信託約款を掲載します。
目論見書の使用方法等	目論見書は、電子媒体として使用される他、インターネットなどに掲載されることがあります。

# 独立監査人の監査報告書

平成30年3月9日

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 鶴田光夫  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているインベスコ・アセット・マネジメント株式会社の平成29年4月1日から平成29年12月31日までの第28期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社の平成29年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成30年6月13日

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 鶴田光夫  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているインベスコ 英国債券建て債券ファンド<為替アクティブヘッジ>（毎月決算型）の平成29年10月17日から平成30年4月16日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

**財務諸表に対する経営者の責任**

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

**監査人の責任**

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

**監査意見**

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、インベスコ 英国債券建て債券ファンド<為替アクティブヘッジ>（毎月決算型）の平成30年4月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

**利害関係**

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

( ) 1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。